

佐
三
三
三

情報部
第一課長

普通第九七六號

昭和六年十一月三十日

在奉天

日本總領事



昭和六年十二月四日

外務省情報部 御中

「滿洲ニ於ケル支那側ノ條約蹂躪」追送方依頼ノ件
貴部御送附ノ「パンフレット」「滿洲ニ於ケル支那側ノ條約蹂躪」
ハ當方啓發事業遂行上極メテ有用ニシテ此ノ際更ニ約三十部是非共
御追送ヲ煩度ニ付テハ右至急御取計ヲ請フ

在奉天日本總領事館

S 1.1.1.0-39

185

記 0185

REEL No. A-0190

アジア歴史資料センター

機密公第七八號

昭和六年十二月五日

在鄭家屯領事 大和久義郎

在中華民國
特命全權公使 重光葵 殿

支那側ノ條約違反、不當行爲ニ關シ報告ノ件

管内ニ於ケル支那側ノ條約違反、不當行爲等報告方ニ關シ客月下旬御來電ノ次第敬承此種事例ハ從來枚擧ニ違アラス概要ハ其都度報告致シ居ル處特ニ重要ナル事例又ハ最近ニ於ケル事例等ニ關シ別紙ノ如ク報告申進ス御査閱相成度シ

本信寫送付先 外務大臣 北平首席 奉天、吉林、哈爾濱 各總領事

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

186

0186

一、土地問題

支那側ノ條約違反、不當行爲等ニ關スル調査

大正四年ノ南滿洲及東部內蒙古ニ關スル條約ニ依リ南滿洲ニ於ケル商租權及東部內蒙古ニ於ケル合辦事業ヲ認メタルニモ拘ラス支那側ハ毫モ實行ノ誠意ナク懲辦國賊條例、商租地畝須知、國土暨嚴禁條例等ヲ以テ之ニ壓迫ヲ加ヘ遂ニ不可能ニ陥ラシムル實例尠カラス

(一) 大正十年鄭家屯滿鐵公所長早川カ通遼ニ於テ土地九十天地(我五十八町步餘)ヲ金一萬二千圓ニテ購入シ滿鐵ノ農事試作場トナサントセシモ商租シ得ス支那人名義人ヲ用ヒテ購入セルニ昭和三年ニ至リ名義人該土地ヲ橫領セントシテ問題發生シ通

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

187

0187

遼縣長ハ遂ニ該土地ノ地契ヲ沒收セリ

(二) 大正十年邦人自在丸金市ハ通遼輿地ニ九十天地ヲ支那人名義人ヲ用ヒ購入シ昭和二年東亞勸業會社ハ該土地ヲ金十七萬圓ニテ買收シ水田ヲ經營シ名義人變更ノ爲地契ヲ通遼縣ニ差出シ書換ヲ請願シタルニ縣長ハ國土盜賣ノ理由ヲ以テ右地契ヲ沒收シ會社ハ該土地放棄ノ已ムナキニ至レリ

(三) 東亞勸業會社經營通遼縣公濟號農場ハ支那人名義人ヲ用ヒ辛フジテ農業經營ヲナシツアルカ官憲ハ絶ヘズ該名義人ヲ嚴罰ニ處セントシ會社ハ名義人ヲ滿鐵附屬地等ノ安全地帯ニ避難セシメ居レリ

(四) 熱河省奈曼王旗ニ於テ大倉組ノ經營スル華興公司農場モ亦

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

188

0188

同様ノ苦境ニ陥リ居レリ

一、居住營業ニ對スル妨礙

南滿洲ニ於ケル日本人ノ居住及營業ノ自由ハ條約ニ依リ認めラレ居ルニモ拘ラス地方官憲ハ管内輿地ノ居住及營業ニ對シテハ極力壓迫ヲ加ヘ洮南ノ如キ既ニ大正三年一月大統領令ヲ以テ自發的ニ開放ヲ發布セルニモ拘ラス實行ノ意思無ク事ニ托シテ邦人ノ居住ヲ拒ミ之ヲ交渉スル時ハ涉外關係回避ノ爲裏面ヨリ家主ニ壓迫ヲ加ヘテ借家關係ノ解除ヲ強制シ借主タル邦人ヲシテ立退ノ已ムヲ得サルニ至ラシム現ニ一昨年一月以來同地ニ派遣シ居レル當館警察官モ昨年十二月此ノ手段ニ依リ撤退ノ已ムナキニ至レリ(五、一、一二、一大臣宛機密公第二七五號公使宛機密公第一四號)五、一

6.11

S 1.1.1.0-39

189

0189

外務省

二、六大臣宛機密公第二七八號、公使宛機密公第一五號)五、一
 二、二〇、大臣宛機密公第二九一號公使宛機密公第一七號)
 (一)邦人米林榮吉ハ從來洮南ニテ支那人家屋ヲ借入レ旅館ヲ經
 營シ來リ昭和四年ニ至リ規模擴張ノ爲造作ニ金二千四百圓ヲ費
 シ既ニ設備完了セル處支那地方官憲ハ邦人ノ旅館經營ニ異議ヲ
 主張シ家主カ支那人ナル關係上遂ニ之ヲ沒收シ支那公安隊ノ宿
 舎トナシタリ(四、一一、二六、大臣宛機密公第三七九號)
 (二)滿鐵ニテハ昭和四年中洮南奧地圖什業圖旗及熱河省林西ニ
 診療所ヲ設ケ支那人及蒙古人ノ診療ニ從事セルカ地方官憲ハ之
 ニ對シ壓迫ヲ加ヘ兩地共閉鎖引揚ノ已ム無キニ至レリ(五、二
 、一三大臣宛機密公第四四號)

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 190

0190

(三)滿鐵ニテハ本年春洮南ニ農事試作場ヲ設置シタル處遼寧省
 政府ノ反對ヲ受ケ既ニ借入レタル土地ハ地主ヲ壓迫シ閉鎖ノ已
 ム無キニ至ラシメタリ(六、四、一〇大臣宛機密公第九〇號同
 公使宛機密公第二三號)
 (四)昭和六年春通遼公濟號農場ニ於テ大規模ノ築堤工事ヲ起工
 スルヤ地方官民ハ虛構ノ宣傳ヲナシ同地公安局長ハ多數巡警ヲ
 指揮シテ該工事従業員小屈ヲ燒拂ヒ工事ヲ不能ナラシメタリ
 (六、六、一〇大臣宛機密公第一四八號同公使宛機密公第三三
 號)六、六、一三大臣宛機密公第一五四號同公使宛機密公第三
 五號)
 一、旅行者ニ對スル妨碍制限

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 191

0191

内地通商遊歴ノ自由ハ條約ニ明記セラレ居ル處當館管内洮南、開通、洮安、突泉、瞻榆、安廣、鎮東ノ各縣及蒙古各旗ハ匪賊横行シ地方不安ナル口實ノ下ニ大正五年ヨリ今日ニ至ル迄邦人ノ遊歴ヲ禁止シ當館發給ノ執照ニ支那側ノ捺印ノ際必ス右禁止區域ノ符箋ヲ附シ如何ニ交渉スルモ解禁ヲ肯セス(六、八、三一大臣宛機密公第二一九號同日公使宛機密公第五〇號)

(一) 昭和四年十月我教育視察團五十名北滿視察ノ途次齊々哈爾濱ニ向ハントシテ洮南ニ立寄ルヤ執照無キヲ理由トシ洮南市内視察及洮昂鐵道乗車ヲ拒否シ一行ハ已ムナク鄭家屯ニ引返シタリ(四、一〇、一〇大臣宛機密公第三四八號)

(二) 滿洲醫科大學ニ於テハ例年夏季休暇ヲ利用シ滿蒙奧地ニ診

は(七)

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

192

0192

療班ヲ派遣シ居リ昭和四年度モ洮南奧地ニ派遣セントシタルニ洮南官憲ハ強硬ニ之ヲ阻止シテ肯セス一行ハ已ムナク所期ノ目的ヲ達シ得スシテ歸奉セリ(四、七、六大臣宛公第二五五號)

は(七)

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

193

0193

一 匪賊被害

當地方ノ支那軍隊ハ無賴ノ遊民匪賊其他社會上ノ落伍者ヲ募集シテ編成シタル團體ナルガ上ニ之ヲ指導スル幹部將校モ正規ノ軍事教育ヲ受ケタル者少ク情實のニ任命セラレタル者又ハ匪賊ノ頭目ヨリ採用セラレタル者モアリ軍隊ニ於テモ匪賊ヲ招撫シテ正規軍ニ改編セラレタルモノモアリ從テ素質極メテ劣等ナル上ニ給與モ月銀銀三元ヨリ八元程度ノ少額ニシテ衣食ハ官給ナルモ是又最下級社會ノ者ナラテハ堪ヘ難キ粗末ナルモノニシテ且往々數ヶ月間給料不渡トナリ從テ兵士ト匪賊トハ何等擇フ處無キ不法惡辣ノ行爲ヲナシ内外人ヲ苦シメ居レルヲ以テ兵多ケレバ匪亦多シト稱シ地方人民保護ノ實ハ殆ント擧リ居ラズ甚シキ一例ハ軍隊ノ匪賊討

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 194

0194

は(七)

伐ノ際時々銃器彈藥ヲ匪賊ニ盜賣スル事アリ又自己ノ銃器ヲ尙ニ匪賊ニ貸貸シ贓品ノ分ヶ前ヲ收得シ以テ不足勝ナル收入ノ一助トナスガ如キ事アリ軍隊ヲ地方ニ出動スルヤ住民ニ對シ無償徵發又ハ日用品ヲ購入シ代價ヲ仕拂ハザルハ公然ノ秘密トナリ居ルニ付匪賊ノ横行ト軍隊ノ出動トハ其間大ナル徑庭ナリ當地方ハ年ト共ニ匪賊増加シ現今管内ヲ通ジ猖獗セル匪賊ノ數ハ實ニ一萬數千人ニ上ルト傳ヘラレ據據、放火、強姦人質等ノ事實頻々トシテ起リ地方住民ハ塗炭ノ苦ヲ嘗メ居ルモ支那軍ノ討伐ハ何等效果無ク人質ノ如キハ結局被害者關係者ガ匪賊側ニ所要金品ヲ提供シテ之ヲ救出スルヲ常トス

最近數年間ニ於ケル邦人關係被害ノ主ナルモノ左ノ如シ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 195

0195

(一) 昭和二年十二月廿五日鄭家屯居住特産商野田富太郎ハ敵名ノ匪賊ニ殺害セラレ當館ニ於テハ支那側ニ對シ犯人逮捕方嚴重督促セルモ何等ノ手續リ無シ(二、一二、二六、大臣宛公第一〇四號)
 (二) 昭和五年九月七日鄭家屯居住藤野良三郎ハ敵名ノ匪賊ニ殺害セラレ當館ニテハ支那側ニ對シ犯人逮捕方嚴重交渉セキルモ手續リヲ得ルニ至ラス(五、九、一二、大臣宛公第二一一號)
 (三) 昭和五年十月十九日通遼居住越後松方ニ二名ノ匪賊闖入シ現金銀一千五百元其他ヲ強奪シ去リ當館ニテハ通遼縣長ニ對シ犯人逮捕ヲ要求セルモ效果無シ
 (四) 昭和五年十二月九日四鄭線ノ一地方ニ於テ匪賊ガ軌道ヲ除

外務省

去シ列車ヲ顛覆セシメ銃器ヲ擧シテ乗客ヲ威嚇シ金品ヲ強奪セルガ邦人乗客八名アリ右被害約七百圓ニ達シ匪賊ノ一部ハ其後逮捕セラレシモ掠奪セラレタ金品ハ全然奪回シ得ザリキ(五、一二、一一大臣宛公第二八四號同日公使宛公第六號)
 (五) 昭和六年四月廿一日通遼華興公司ニ於テハ同地ヨリ奥地農場へ價格銀七百元ノ物品運搬ノ途中六名ノ匪賊ニ襲ハレ物品全部ヲ掠奪セラレ當館ヨリ通遼縣長ニ交渉ノ結果公安局ノ活動トナリ一部贓品ノ奪回ヲ見タリ(六、五、二大臣宛機密公第一〇八號、同日公使宛機密公第二八號、六、五、二三、大臣宛機密公第一三〇號、同日公使宛機密公第二九號)
 (六) 昭和六年五月十七日通遼朝鮮旅館ニ匪賊二名闖入シ投宿中

外務省

ノ鮮人権承ヲ殺害逃走セリ當館ヨリハ犯人逮捕方ヲ交渉セル
モ未ダニ逮捕シ得ス(六、五、二三大臣宛機密公第一二九號)
(七)昭和六年五月廿一日通遼實商森光友七方ニ五名組匪徒闖入
シ現銀五百八十元及質物約銀一千七百元ヲ強奪逃走セリ支部側
ノ捜査ハ依然何等ノ效果ヲ得ズ(六、五、二六、大臣宛機密公
第一三六公使宛機密公第三一號)

(八)昭和六年五月廿六日四洮線遼河鐵橋工事場ニ四名ノ匪徒來
襲邦人従業員六名ヨリ現金所持品等合計金五百五拾圓ヲ強奪逃
走セリ(六、六、一七、大臣宛公第一六〇號公使宛公第三八號)
(九)昭和六年七月卅一日十三名ノ匪徒鄭家屯ノ東北約五哩ノ四
洮線架橋工事場ヲ襲ヒ工事監督三楠亮一、山田國義ノ兩名ヲ人

外務省

6.11
S 11.1.0-39

198

0198

質トシテ拉致シ金五萬三千圓及拳銃彈丸等ヲ要求セリ支部側ノ
討伐ハ效果無ク且人質ニ危害ヲ及ボス虞アルヲ以テ裏面運動ニ
依リ銀二萬元ヲ提供シ八月廿二日救出スルヲ得タリ該匪賊頭目
ハ其後九月上旬洮南ニテ捕縛セラレタルモ現金等ハ全然回收シ
得ズ(六、八、三、大臣宛機密公第一九七號公使宛機密公第四
五號、六、八、二四、大臣宛機密公第二一二號公使宛機密公第
四九號)

(十)昭和六年九月廿三日通遼興地產興公司農場員十二名ガ事變
ノ爲メ引揚ノ途中百餘名ノ土匪ニ襲ハレ一行中ノ滿鐵社員坪井
清ヲ人質トシ他ハ無事ナルヲ得タリ坪井ノ救出ニ付テハ其後裏
面運動ニ依リ十月十三日ニ至リ銀四萬元ヲ提供シ救出スルヲ得

外務省

6.11
S 11.1.0-39

199

0199

タリ(六、九、二五、大臣宛機密公第二三九號、公使宛機密公
第五六號、六、一〇、一四、大臣宛機密公第二五八號、公使宛
機密公第六四號)

朝鮮人ニ對スル壓迫

朝鮮人ノ當館管内ニ移住シ與地ニ於テ水田經營ヲナスニ當リ沼澤
地荒蕪地ヲ開墾スル間ハ傍觀的態度ヲ執リ之ヲ開拓シ美田トナス
ヤ曠曠履備規定ノ如キ不法ナル規定ヲ楮ニ壓迫ヲ加ヘ遂ニ立退キ
ノ已ムナキ被目ニ陷ラシムル事件尠カラズ因テ彼等鮮人ハ僅ニ小
作人ノ地位ニ甘ンゼザル可カラザル状態ナリ
又鮮人ノ移住セル與地ノ教育機關ニ對シ支那ノ教育制度ヲ適用シ
日本語ノ教授及朝鮮總督府編纂教科書ノ使用ヲ認メズ外國人タル

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 200

0200

鮮人ニ對シ支那人教育ヲ強要シ教育上ノ支障尠カラズ

鐵道ニ對スル不當

四洮鐵道ハ我國ノ借款鐵道ニシテ洮昂鐵道ハ滿鐵ノ請負工事ナル
ガ右借款償還ハ勿論利子或ハ請負益ノ一部スラ支拂ハズ無代價ニ
テ建設シタルカ如キ状態ヲ利用シ極端ニ運費ヲ低下シ滿鐵貨物
ノ奪取ニ汲々タルモノアリ

尙南鐵道共外貨提制國貨提唱ノ見地ニ基ク國民政府鐵道部ノ命ニ
從ヒ從前ヨリ輸送貨物ニ對シ差別運費制ヲ採用シ居レリ(五、七、
一四大臣宛機密公第一六六號公使宛機密公第一號、五、七、一九、
大臣宛機密公第一七三號、公使宛機密公第二號)

排日宣傳

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 201

0201

排日集會ノ開催排日傳單ノ貼布、日貨排斥運動等ガ通達、滿南方面ニ屢次發生シ殊ニ近年ハ以上兩地ニ外交協會支部ナルモノ設置セラレ極力排日運動ニ着手シ居ルモ官憲ハ何等取締ヲ加ヘズシテ愛國運動ト目シ之ヲ煽動シツツアル現状ナリ

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

202

0202

編者附言
原書ハ
1910.11.17
滿洲日支軍衝突事
妻系係一件
交通々信機ノ保令
並被官係係ニ在リ

類 1.1.0.21-12-2

昭和6 二一九五三 暗 奉天 七日後發 亞
幣原外務大臣 本省 十二月七日後着
第一四八五號 森島總領事代理
滿鐵側ノ調査ニ依レハ本月及十一月ニ於ケル列車運行妨害件數ハ十四件ニシテ内譯左ノ通
(一)枕木石塊等ノ障碍物ヲ線路ニ乗セタルモノ十件
(二)レール繼目「ポールド」若ハ信號器ノ取外シ二件
(三)其他二件
聯盟ヨリ在歐各大使へ轉電アリタシ
聯盟、米、支、北平へ轉電セリ

外務省

6.10
S 1.1.1.0-39

203

0203

秘

機密公信第二四二號

昭和六年十二月七日

在百草溝分館主任 堀内孝

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

昭和六年十二月七日附機密公領第八三號寫送付

在華公使宛

件名

一中國側條約違反等諸材料ニ關スル件

別紙附

は()

6.10 S 1.1.1.0-39

204

0204

外務省

機密公領第八三號

昭和六年十二月七日

在百草溝分館主任 堀内孝

在中華民國

特命全權公使重光葵殿

中國側條約違反等諸材料ニ關スル件

本件ニ關シ貴電合第一七〇八號御下命ノ趣敬承、仍テ當館管内ノ分
取纏メ別紙ノ通り及進達タレハ御査閱相成度シ

別紙附

は()

6.10 S 1.1.1.0-39

205

0205

外務省

外務省

自昭五二 至同六四	汪清縣政府 鮮民壓迫	縣政府ニ於テハ教育權 ヲ收回策 取調ヲ分駐所ヘ引致シ 取調ヲ分駐所ヘ引致シ 取調ヲ分駐所ヘ引致シ
魯迫ノ上之ヲ強徵セリ	テカノ私校ヲ欺罔シ全 テカノ私校ヲ欺罔シ全 テカノ私校ヲ欺罔シ全	來カス分駐所ヘ引致シ 來カス分駐所ヘ引致シ 來カス分駐所ヘ引致シ

S 1.1.1.0-39 207 0207

外務省

昭和五 一三	同	昭和一 九	年月日	中國側ノ 民反行爲 保護ノ能 力ナシト 認ラレサ ル事項
賭大ハ二 錢坎支月 ヲ子鮮十 ナ永人一 サ春洞般 ス洞鮮休 將人日ノ 中住爲メ 巡民七同 警七名八 三名ハ	同 拾四圓	同 貳百八圓	加非違 害違官 憲被 害ノ 狀況	華盛頓條約、諸決議事項、各種條約、取極事項ノ違 反行爲及文明國ニ行ハレサル不法行爲並内鮮住調查表
ハ支鮮一 坎子永春 洞鮮人住 民七名八 三名ハ	同	同	日貨七拾圓	行爲概況摘要

S 1.1.1.0-39 206 0206

昭和 二〇	
汪清縣政府 及第四公安 分局	
毆打致死	
用局員シ本一ニ十講ヲ然金行供ニ公ノ豐一ナル春	メヨソ迫戒重サセ接查局應シノ國納シ課十ニ在
シ側ヲ監件日重日セ引ルナヲセ韓安所洞巡	翌リトノ器立スシ近ニ長セテナル側税クシ五テ
被害ヨ派督ニ遂キ局ス致ニカ加ハ内家ニ誣告シ	ニ重ル套ヲチ直カシ排セ對リ取ハノ義ノ百タルニ
者自シ官關ニ死撲員自シ該公シツハ談ニ對シシ	至ナル模手留鮮警ハ眞行且南街副居レ商約ト
ニ殺ナサ爾日致ヲ負テヲ集ニ目迫濟金拾五巡取	リ交ナル様置セシ五名ヲ派引シ同街ナ
對ナセタル縣長ハ審判ニ對	ナカ日ヲ命人救シ街
スリト、タ長ハ審判ニ對	セシ本命人救シ街
賠償主ルハ審判ニ對	勿探安係對
ハ勿探安係對	

外務省

S 1.1.1.0-39 209

0209

昭和 一四	
汪清縣 公安局	
同	
メヨソ迫戒重サセ接查局應シノ國納シ課十ニ在	メヨソ迫戒重サセ接查局應シノ國納シ課十ニ在
翌リトノ器立スシ近ニ長セテナル側税クシ五テ	翌リトノ器立スシ近ニ長セテナル側税クシ五テ
ニ重ル套ヲチ直カシ排セ對リ取ハノ義ノ百タルニ	ニ重ル套ヲチ直カシ排セ對リ取ハノ義ノ百タルニ
至ナル模手留鮮警ハ眞行且南街副居レ商約ト	至ナル模手留鮮警ハ眞行且南街副居レ商約ト
リ交ナル様置セシ五名ヲ派引シ同街ナ	リ交ナル様置セシ五名ヲ派引シ同街ナ
ナカ日ヲ命人救シ街	ナカ日ヲ命人救シ街
セシ本命人救シ街	セシ本命人救シ街
勿探安係對	
ハ勿探安係對	

外務省

S 1.1.1.0-39 208

0208

同	同
同	同
同	不法監禁及現金強奪
巡警二名ハ市内鮮人飲食店朴 昌植ノ妻嚴善玉ト百草溝病院 小使ト同衾シ居ルヲ感知シ午 前一時頃嚴方ニ闖入兩名ヲ逮 捕引致シ密賣淫名義ニテ兩者 ヘ各銀二十元ノ罰金ヲ言渡シ タルモ應セサル爲制縛ノ儘留 置シ其翌日百草溝病院樂 劑シカ小使ノ安否ヲ氣遣ヒ同 局ヲ訪ネタル日本側ノ走狗ナ リトテ毆打監禁シ何等ノ事由	汪清縣商埠公安局ハ間島協約 ヲ無視シ商埠地内鮮人牛肉販 ヲ業者カ中側ニ牛肉ノ檢査 ヲ受ケサリシト逮捕留置シ 交涉ノ爲メ赴キ當警察署員 三名ニ對シ七、八名ノ巡警ハ 銃ヲ凝シテ寄付ケス且ツ留置 人ノ身體檢査ヲナシ所持金貳 圓ヲ強奪シ更ニ罰金ト稱シ貳 圓貳拾錢ヲ強徴セリ

外務省

6.10 S 1.1.1.0-39 211

0211

昭和三十九年	同
汪清縣商埠公安局	同
不法逮捕強奪及財物強	同
論責任者ノ處分ヲモナサス 汪清縣商埠公安局第一分駐所 鮮人通譯兼密偵張南益ヨリ自 己ノ小作人タル百草溝居在鮮 人金東隣カ依リ其虛偽ナル情ヲ知 リナカシヨリ不法逮捕禁シ更 ニ張南益ヨリ金東隣父金萬甫 ニ金貳拾五圓ノ貸金アルモ返 濟セストノ誣告ニ依リ其事實 ヲ取調フルコトナク巡長ヲ派 シ價格約八拾圓ノミクシシ 強奪セリ	汪清縣商埠公安局ハ八月十五 日百草溝料理店金相雲カ邸内 ニ設置セル汚水溜改造ノ爲メ 内容ノ汚水ヲ路傍ノ下水溝ニ 汲出シタルヲ公安局ニ引致シ 敷回シ打ノ上留置シ日本側ノ 罰金ヲ言渡シタルモ日本側ノ 交渉ニ依リ之ヲ取消シタリノ

外務省

6.10 S 1.1.1.0-39 210

0210

一 同 五、 二 七	一 同 五 八		
汪清縣商埠 公安局	在永別磔子 保衛團		
不法監禁及 罰金	射 殺		
安局ハ一般ニ 合セ交通ハ之 後ノ一般ニ公 百草溝ノ出沒 共産黨ノ中憲 射殺セリ	匪徒ノ爲メ 眼シタル一 兩丁ヲ監視 近部ヲ中該 ノ隙ヲ窺ヒ 射殺セリ	ナルコト判明 計等ノ貴重 引致シテ身 採ラシテ良 ニ對シテハ 民十名ヲ捕 等取調ヲナ 等取調ヲナ 民十名ヲ捕 ニ對シテハ 採ラシテ良 引致シテ身 計等ノ貴重 團總隊ニ押 ナルコト判 リ	ナク日貨六圓 巡警四名ハ 商カ自國官 リシトテ捕 中ニ於テ當 致ノ理由ヲ 巡警ハ拔刀 安局ニ引致 リシ當署員 ノ巡警ハ散 近セハ射殺 ノミナラス 我巡査ヲ毆 威嚇射撃ヲ 急行シ來リ 急報ニ依リ 名ハ當夜現 名ヲ射殺シ ハ汪清縣商 約十五名ヨ 約十五名ヨ ハ汪清縣商 名ヲ射殺シ 名ハ當夜現 急報ニ依リ 急行シ來リ 威嚇射撃ヲ 我巡査ヲ毆

6.10 S 1.1.1.0-39 213

0213

一 同 五、 二 七	一 同 五 八		
汪清縣商埠 公安局	在永別磔子 保衛團		
不法監禁及 罰金	射 殺		
安局ハ一般ニ 合セ交通ハ之 後ノ一般ニ公 百草溝ノ出沒 共産黨ノ中憲 射殺セリ	匪徒ノ爲メ 眼シタル一 兩丁ヲ監視 近部ヲ中該 ノ隙ヲ窺ヒ 射殺セリ	ナルコト判明 計等ノ貴重 引致シテ身 採ラシテ良 ニ對シテハ 民十名ヲ捕 等取調ヲナ 等取調ヲナ 民十名ヲ捕 ニ對シテハ 採ラシテ良 引致シテ身 計等ノ貴重 團總隊ニ押 ナルコト判 リ	ナク日貨六圓 巡警四名ハ 商カ自國官 リシトテ捕 中ニ於テ當 致ノ理由ヲ 巡警ハ拔刀 安局ニ引致 リシ當署員 ノ巡警ハ散 近セハ射殺 ノミナラス 我巡査ヲ毆 威嚇射撃ヲ 急行シ來リ 急報ニ依リ 名ハ當夜現 名ヲ射殺シ ハ汪清縣商 約十五名ヨ 約十五名ヨ ハ汪清縣商 名ヲ射殺シ 名ハ當夜現 急報ニ依リ 急行シ來リ 威嚇射撃ヲ 我巡査ヲ毆

6.10 S 1.1.1.0-39 212

0212

同 日	同 五 八	同	殺 人	一鮮人方ヲ搜索シ自ラ所持シ 來リシ共産關係文書ヲ密カニ 取出シ之ヲ逮捕シトシテ附近住 民數名ヲ逮捕シ所轄官廳ニ押 送スヘシト約束シ數日後該金 元ノ收賄ヲ約束シ數日後該金 受取ノ爲メ同部落ニ赴キ處 恰モ武裝共産黨二十餘名來合 セ居リテ右團員二名ハ之ニ殺 害セラレタリ	保衛團分隊長以下十名ハ前項 石頭溝ニ於ケル對峙射撃事件 被疑者ヲ一住民ニ對シ當時 部族ニ來リシモ後難ヲ恐 ノ狀況ヲ訊問セシモ同妻 レ詳細陳述セサルヲ以テ 制縛ノ上毆打セルヲ關係 女ハ夫共産黨ニ何ノ關係 ヲ有スルモニアラス解セ ルヲ憤慨シ之ヲ射殺セリ
--------	-------------	---	--------	---	---

6.11 S 1.1.1.0-39 215

はじ

0215

同 日	同 五 八	汪清縣政府 同商埠公安 局	不法逮捕及 禁	汪清縣大荒溝鮮民八名ハ居村 ニ武裝共産黨ノ出沒頻繁ナ ルヲ以テ百草溝ニ避難シ來リ 鮮人宿屋ニ泊シ中數名ノ 巡警ハ突然該室ニ侵入シ夜間 多數集合シテ一巡警ハ自己カ 違ナシトシテ一巡警ハ自己カ 持シ來リシ共産關係文書ヲ夜 具積ノ間ニ差入レ更ニ之ヲ發 見セシ如ク裝ヒ該文書ヲ證據 ナリトテ宿主及右八名ヲ引致 シ更ニ縣政府ニ押送シ内三名 ハ身体虛弱ノ故ヲ以テ放送セ セリモ他ハ局子街審判廷ニ押送 鮮人住民ヨリ金員ヲ詐取スヘ ク共謀シ共産黨捜査ナリトテ
--------	-------------	---------------------	------------	--

6.11 S 1.1.1.0-39 214

外務省

はじ

0214

編者附言
 承五ハA.1.1.0.21
 満洲日支軍衝突事
 係一件ニアリ

寫

(分類A.1.1.0.21-2)

昭和6 二二〇五一 略 南京 八日後發
 本省 十二月八日後着 上村領事

幣原外務大臣
 第八二二號

八日ノ中央日報ハ願維鈞ヨリ在上海ノ友人ニ宛テ回答セル電報ナル
 モノヲ發表セルカ其大意左ノ通

(一)錦州ハ東北全体ノ存亡ニ關係アルヲ以テ我國ハ一面實力ヲ準備シ
 テ防禦スルト共ニ他面外交上ノ手段ニ依リ國土ノ保全ヲ期シツツア
 リ先月廿日頃日本軍錦州ニ迫リタル際施肇基ヨリ聯盟ニ對シ緊急處
 置ヲ要求セシムルト同時ニ當地ニ於テハ英米佛公使ニ對シ日本軍ヲ
 此上前進セシメサル様保障方交渉セルカ右ハ日本軍ヲ 制セントス
 ル苦心ニ外ナラス今ヤ日本軍ハ既ニ退キ日本モ聯盟ニ於テ我軍隊ヲ

記録
 滿洲日支軍衝突事係一件
 係一件ニアリ

7.2 S 1.1.1.0-39

217

0217

昭六 自一三 至一八 陸軍、保衛 團聯合	同 六 汪清陸軍第 七團	同 一四 小百草溝公不法罰金 安分駐所	共匪討伐隊五十四名ハ汪清縣 大荒溝ニ六日間宿營シ全ク無 償ニテ貧弱ナル鮮民ノ食糧ヲ 喰盡シ剩サヘ各家宅ヲ搜索シ 婦人用指環衣類月子等ヲ強奪 シ住民ヲシテ殆ント無一物ニ 陥ラシメタリ	陸軍連長ノ率フル共匪討伐隊 四十名ハ武裝共匪五十名カ地 形ヲ利用シ警戒シ居ル爲メ容 易ニ討伐シ能ハストテ一回ノ 交戦モナサス赴援隊四十名ノ 増派ヲ得タルモ遂ニ共匪ヲ逸 シタリ	分駐所ニテハ機會アル毎ニ住 民ヨリ不法罰金ヲ徵スル旨開 込ミアリシカ共產黨ニ關係ナ キ小百草溝良民三名ヲ共產黨 ナリトシテ引致シ罰金ヲ提供 セハ放免スヘシト脅迫シ各人 ヨリ貳圓宛領得セリ
----------------------------------	-----------------------	------------------------------	--	---	---

及中荒捕

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

216

0216

後退シ支那ノ一切ノ行政機關及地方秩序維持ノ警察ハ從來通職務ヲ執ラン事ヲ要求セルカ我方ハ本國軍隊ノ撤退ヲ承認セス目下ノ争點ハ此點ニアリ日本ノ所謂錦州中立地帯問題ハ雙方ノ軍隊撤退問題ナル處我方ハ錦州ヨリ未タ一步モ撤退セスシテ日本軍ハ鐵道附屬地外ニ後退シタルヲ以テ形勢稍緩和セルカ國民カ此事情ヲ解セサルハ遺憾ナリ

(二)天津地方當局及紳商ハ前後一二回ニ亘ル日本軍ノ暴動ニ對シ各國官民カ日本租界附近數百米ノ區域ニ於テ臨時ニ治安ノ維持ニ協助セシムル事ヲ希望セルカ各國ハ火中ニ投スル事ヲ恐レ未タ話合ハ目鼻附カス

(三)重光公使ハ二回外交部ヲ訪ネ日本軍ノ撤退ヲ説明シ我軍ノ錦州撤

外務省

は(七)

0218

7.2
S 1.1.1.0-39

218

退ヲ希望セルカ余ハ之ヲ拒絕セルト共ニ我方ノ見解ト立場ヲ説明シ且右談話ハ交渉ノ性質ニアラサル事ヲ言明セル處同公使モ之ニ同意シ其ノ來訪ハ單ニ日本側ノ立場ヲ說明セルモノナリト述ヘタリ要スルニ支那ハ未タ日本ト絶交シ居ラサルヲ以テ日本公使ノ外交部來訪ヲ阻止スル譯ニ行カス來訪セル以上其發言ヲ阻止スル能ハス既ニ發言シ日本側ノ主張ト見解ヲ説明スルニ於テハ余モ亦我方ノ所見ト觀察ヲ説明セサルヲ得ス從テ此種ノ談話カ交渉ニアラサル事ハ極メテ明白ナリ云々

支、聯盟、北平、奉天、廣東へ轉電セリ

は(七)

0219

6.11
S 1.1.1.0-39

219

外務省

秘

機密第二三六號

昭和六年十二月八日

在張店出張所主任福士堯行

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

公信寫送付ノ件

昭和六年十二月八日附在中華民國公使宛機密第五七號拙信寫

件名

一中國ノ實狀説明資料進達ノ件

外務省

は(シ)

6.11 S 1.1.1.0-39 220

0220

機密第五七號

昭和六年十二月八日

在張店出張所主任福士堯行

在中華民國特命全權公使重光葵殿

中國ノ實狀説明資料進達ノ件

貴電合第一七〇八號ニ關シ當出張所受持區域内ニ關スル分不取敢別

添ノ通り(一)進達ス

追テ各項附記ノ參照公信ハ貴公使宛寫御送付済ノモノニ付右御含

置相煩度

本信寫送付先

外務大臣、在北平大使館參事官

外務省

は(シ)

6.11 S 1.1.1.0-39 221

0221

任
在濟南、青島各總領事、在芝罘領事、在博山、坊子各出張所主

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

222

0222

中國ノ實情説明資料(一)

在張店日本總領事館出張所

(一) 膠濟沿線都市開埠問題

膠濟沿線開埠問題ニ關シテハ華府ニ於テ支那全權ノ明確ナル聲明アリタルノミナラズ右都市開放方ニ就テハ支那政府當局ヨリ屢次言明ノ次第アリタルノミナラズ之レニ基キ帝國政府申入レノ希望ニ對シ大正十一年五月三日支那政府ヨリ八個所開埠ノコトニ閣議決定セル旨通告アリ次テ山東懸案細目協定商議ノ際及其ノ後機會アル毎ニ我方ヨリ開埠實行方要求セルニ對シ支那側ニ於テハ反對ヲ唱ヘタルコトナク現ニ細目協定中ニモ開埠ノ實行ヲ前提トスル各種ノ規定ヲ設ケ居ルノミナラズ山東還附以來引續キ沿線各地ニ

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

223

0223

多數邦人定住シ居ルニ對シテモ何等抗議等ノ申出ナク又撤兵協定
 其ノ他ノ條約又ハ外交文書等ノ内容ヲ按スルニ邦人ノ居住營業ヲ
 認許セシモノナルコト明瞭ニシテ又近クハ昭和四年新行政機關引
 入大綱ニ於テモ邦人生命財産ノ保護及我方ノ權益擁護ヲ實行スル
 旨明記アリ只其ノ名目ガ開埠地ニアラザル爲不便不利ヲ蒙ルコト
 少ナカラズ殊ニ張宗昌山東督辦時代ニ在リテハ未開埠地ニ於ケル
 日本官憲ヲ認ムベカラザル旨内訓シ支那地方官憲ガ我が領事館出
 張所主任以下ニ對シ公人トシテノ接觸ヲ避ケ交渉案件ハ多ク濟南
 交渉署ニ移送シ又邦人ノ未開埠地居住ハ條約違反ナレバ之レガ保
 護ノ責ナシト傲語スル等支那政府自身ニ於テ條約上ノ義務履行ヲ
 遷延シ乍ラ地方上級官憲ニシテ尙ホ且ツ此ノ不都合ヲ敢テスルハ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

224

C224

看過シ能ハザル處ナリ
 参照公信

年月日	宛名	發者	番號
大正十二年十一月二十六日	在濟南總領事	在支公使	機密第四一號
同十二月十六日	在支公使	在濟南總領事	同第二九號
昭和四年四月二十二日	在濟南總領事	在博山主任	同第三一號
昭和六年二月十三日	外務大臣	在張店主任	同第三〇號

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

225

0225

(二) 鐵道用地貸下問題

イ 目下青島在留邦人今井惣太郎ハ大正四年四月我が山東鐵道管理部ヨリ張店停車場ニ連接スル土地三十六坪ヲ一ヶ年地代銀三十五元ニテ貸下ヲ受ケ家屋ヲ建設シ女婿足立正藏ヲシテ食料雜貨商ヲ營マシメ居タル處昭和五年二月二十五日膠濟鐵路局ヨリ該土地回收方申出アリタルカ本件ニ就テハ山東縣案細目協定第二委員會第二十一回會議ニ於テ議事録ニ留メタル事項中鐵道附屬ノ土地上ニ現ニ築造又ハ工作ニ着手セル使用許可地ニ關シ其ノ契約期間滿了後同一條件ニテ之レカ使用ヲ繼續ヲ許可ス但シ鐵道引渡後十年ヲ經過セハ協議ノ上其借地料ヲ變更スルコトヲ得

外務省

0226

6.11
S 1.1.1.0-39

226

前項使用許可地ニ付鐵路局ニ於テ便宜ノ爲回收ノ必要アル場合ハ適當ノ價額ヲ以テ該地上一切ノ建物及工作物ヲ買收スルコトヲ得

トアル條項ニ依リ協議解決スヘキモノナルニモ拘ハラズ鐵路局ハ昭和六年三月九日張店工務段ヲシテ突然該家屋ノ店先キノ部分ニ板塀ヲ建設セシメ營業ヲ不能ナラシメタルノミナラス從來使用ヲ許可シ居タル水道及便所ノ使用ヲ禁止シ又燈用電氣ノ供給ヲ停止シタリ
惟フニ本件ハ交渉ニ依リ解決スルカ然ラサレバ我が領事官法廷ニ出訴シ司法ノ手續ニ依リ解決スヘキモノナルニモ拘ハラズ未解決中ニ實力ヲ以テ壓迫ヲ加ヘ居住營業ヲ不能ニ陥ラシメタル

外務省

0227

6.10
S 1.1.1.0-39

227

同 一月十日	同 三月六日	同 三月十日	同 三月十三日	同 三月二十二日	同 三月廿四日	同 四月三十日	同 五月一日
"	"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	在濟南總領事	張店主任	"
第三號	第一四號	第一五號	第一七號	第一九號	第二〇號	第六八號	第二六號

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39 229

0229

同 一月六日	昭 和六年	同 六月十九日	同 四月一日	同 三月二十九日	昭 和五年 三月二十九日	年 月 日	宛 名	發 者	番 號
"	"	"	"	"	"	"	在青島總領事	張店主任	機密第一〇號
"	"	"	"	"	"	"	"	"	第七二號
"	"	"	"	"	"	"	"	"	第一號
"	"	"	"	"	"	"	"	"	第二號

外務省

6.10
S 1.1.1.0-39 228

0228

ハ甚々不都合ナル處其ノ後折衝ノ結果鐵路局カ銀六千五百元ニ
テ該家屋ヲ買取ルコトトナリシガ不幸ニシテ之レガ取引前昭和
六年五月三日該家屋ハ原因不明ノ火災ヲ被リ燻失セリ
参照公信

(三) 治安

現今ニ於ケル膠濟鐵道沿線及ヒ奧地ノ治安維持方法ハ從來ニ比シ機關ノ名稱又ハ組織ハ多少ノ異動ヲ來シ居ルモ其ノ實質ニハ大ナル變化ナク當館受持區域内ニ在リテハ

イ、沿線 縣城ニ公安局アリ張店、周村ニ分局ヲ置キ其ノ他ノ地點ニハ民團ヲ分駐セシム民團トハ山東全省民團總指揮部魯東指揮部ニ屬ズル一種ノ警察隊ニシテ各縣ニ一個大隊(實員ハ約一個中隊位)ヲ配置シ縣長ヲ以テ大隊長ニ充テ又周村ニハ周村商民協會ノ組織ニ係ル一種ノ警察隊アリ之レヲ萬團ト稱シ公安局ノ補助機關ト觀ルコトヲ得ヘシ尙ホ周村ハ沿線重要都市中ノ一ナルヲ以テ同地公安分局長ハ縣公安局長ト同格ナ

6.10

S 1.1.1.0-39

231

0231

同 五月三日	外務大臣	在濟南總領事	第二八號
同 五月六日	在青島總領事	在濟南總領事	第二〇〇號
同 八月三日	在青島總領事	在濟南總領事	第一七一號

前項今井惣太郎ハ張店ニ於テ鐵道附屬土地百六十五坪ヲ家屋及物置敷地トシテ一ヶ年地代銀七十九元二十仙ニテ貸下ケヲ受ケ其ノ期限ハ昭和七年三月三十一日ナルカ鐵路局側ニテハ今井カ從來家屋ノ建築ヲ履行セストノ理由ニテ本件租權ノ取消ヲ固執シアルヲ以テ權利確保ハ至難ト思料セラル

6.11

S 1.1.1.0-39

230

0230

リ
以上ハ謂ハハ普通警察機關ニシテ此ノ外膠濟鐵路局警務段ナ
ル者アリ主トシテ鐵道及旅客ノ保護取締及鐵道附屬地内ノ治
安維持ニ任ス
右ノ外從來ヨリ張店、周村、青州ニハ軍隊駐屯シ主トシテ土
匪ノ警戒討伐ヲ以テ本務トス
普通警察機關ヲ組織スル人物ハ濟南青島ノ如キ大都市ハ知ラ
ス沿線地方ニ在勤スル者ハ餘リニモ腐敗シ又餘リニモ素養缺
除シ低級ナル爲警察官トシテノ威信ナク加フルニ甚タ不規律
ニシテ殊ニ下級警察官吏タル巡警ニ到リテハ文字ヲ解セサル
者大多數ヲ占ムル處是等ハ教習又ハ訓練ヲ加ヘタル者ニアラ

外 務 省

6.10
S 1.1.1.0-39

232

0232

サルヲ以テ假リニ幹部ニ優秀ノ士アリトスルモ其ノ指導命令
ヲ解スルノ力ナキヲ以テ自己ノ任務ヲ解セサルノミナラス職
務執行上必要ナル法令ヲ心得居ル者殆ント之レナシ故ニ何事
ニ限ラス専ラ感情ト常識(？)ニ訴ヘ法令ニ依ラスシテ徒ラ
ニ逮捕、引致、監禁、搜索、押收ヲ行ヒ又拷問、收賄ヲ事ト
シ理非曲直ヲ顛倒スルカ如キハ日常茶飯事ニシテ其ノ無爲無
能ト亂暴ニハ實ニ驚クノ外ナシ
此ノ如キ實狀ハ現今ニ在リテハ省政府ニ於テモ既ニ之レヲ認
メ居ル爲ニヤ近來警察事務執行ノ模様ヲ觀ルニ一般公安分局
長(周村分局長ヲ除ク)ニハ警察諸規則違反者ト雖之レヲ處
罰スルノ權限ヲ與ヘス悉ク本局(縣城ニ在リ)ニ送致セシム

外 務 省

6.10
S 1.1.1.0-39

233

0233

ルモ實際ノ弊害ハ依然トシテ改メラレ居ラサルモノノ如シ
膠濟鐵路警察官吏ハ文字ヲ解シ又當初一定ノ教習ヲ經タル者
今尙ホ大部分ヲ占メ居ル爲公安局巡警ニ比シ遙カニ優秀ニシ
テ職務執行ノ如キモ餘リ不規律亂暴ニアラス蓋シ多少文字ヲ
解シ又訓練ヲ經タル者大部分ヲ占ムル爲上司ノ指揮命令ヲ或
ル程度迄理解シ得ルノ素養アルニ依ル
張店、周村、青州ニハ從來ヨリ軍隊駐屯セシモ内亂及土匪討
伐等ノ爲隨時移動アリ幹部ニハ軍官學校出身其他相當ノ教養
アリ頭腦アル者ナキニアラサルモ營長以下殊ニ下士以下ニ到
リテハ前記巡警ニ比シ更ニ素質不良ナル處軍隊ハ既述ノ通り
平時ニ在リテハ主トシテ土匪ノ警戒討伐ヲ本務トシ其ノ結果

外 務 省

6.10

S 1.1.1.0-39

234

0234

(1) 停車場ニ分駐シ旅客ノ手荷物ヲ検査シ(2) 或ハ夜間市内外ニ
歩哨トシテ配置シ通行人ヲ取調ヘ(3) 徒ラニ逮捕、引致、監禁
搜索、押收ヲ行ヒ(4) 拷問、收賄ヲ事トシ理非曲直ヲ顛倒シ動
モスレハ毆打虐待ヲ肆ニシ(5) 往々ニシテ普通警察事故ニモ干
與スルノ風アリ宛然系統ヲ異ニスル二個ノ警察機關存スルカ
如キ奇觀ヲ呈スルコトアリ
ロ、沿線以外 輿地ニ在リテハ現在ニ於テハ縣内ノ廣狹ニ依リ四
區乃至六區ニ分チ區ニ區長及區丁若干ノ外民團ヲ配置シ(會
テハ保衛團ナルモノヲ配置シ居タルコトアリ) 警察事務ヲ行
ヒ其ノ内容ハ公安局ト大差ナク又區長ハ聯莊會(村民自衛
團)ヲ指揮シ土匪ノ警戒討伐ヲ行フモ其ノ無爲無能ハ公安局

外 務 省

6.10

S 1.1.1.0-39

235

0235

ヨリ更ニ一層甚ジキモノノ如シ但シ現在ニテハ區公所ト縣政
府トノ間ニ直通電話アル爲不時ノ事變ニ際シ各區又ハ縣城ヨ
リ相互ニ應急援助ノ便開カレタリ

外務省

6.10

S 1.1.1.0-39

236

0236

次ニ是等機關ノ外國人ノ生命財産保護狀況左ノ如シ

(1) 青州 大正十二年十一月二十三日午後十一時頃青州停車場前邦
商吉岡洋行事篠原輔二方ニ約二十名ノ土匪襲來シ拳銃ヲ發射シ
金品ヲ強奪シタル上店員支那人孫榮昇(邦人ハ當時不在)ヲ拉
致シ銀五百元ヲ要求シ篠原ハ後難ヲ恐レ裏面ヨリ土匪ト交渉ノ
上孫ヲ取戻サント計畫中翌十二月七日同地滿洲城ノ井戸ノ中ニ
テ右孫ノ屍体ヲ發見セル由(大正十二年十一月三十日附普通第
二一六號及同年十二月十日同第二二四號在濟南藤井總領事宛報
告書ニ依ル)ナルモ、犯人檢擧ニ到ラス

(2) 張店 大正十五年三月二十四日午前六時頃張店榮町質屋古着商
尾立ヌエ方ヨリ發火シ家屋全燒シ本人ハ燒死セシカ燒死者ハ獨

6.10

S 1.1.1.0-39

237

0237

外務省

身ニシテ雇人等モ之レナキ爲原因判明セサルモ醫師ノ鑑定及ヒ
警察官ノ實驗ニ依レハ他殺ノ上放火セシモノト認メラレ元膠濟
鐵路局巡警李某及張志剛ナル者ハ何レモ有力ナル關係者ト認メ
ラルルモ遂ニ犯人ノ檢舉ヲ見ルニ到ラス（大正十五年三月二十
五日附普通第一一號在濟南藤田總領事宛及同年四月六日附普通
第二二號外務大臣宛報告書ニ依ル）
(3) 青州 大 正十五年十二月九日午後八時頃青州停車場前邦商德
田洋行出張所ニ、六名ノ土匪侵入シ金員ヲ強奪シタル上店員支
那人賀振家及韓嘉升ヲ拉致シ去リシカ賀ノミハ途中ヨリ釋放シ
贖身金ヲ要求セリ
右ニ關シ益都縣知事（在青州）及同地駐屯軍ハ土匪ノ搜查及人質

6.10
S 1.1.1.0-39 238

外務省

0238

ノ奪還ニ相當ノ努力ヲ拂ヒシモ效果ナク結局德田ハ土匪ト内交渉
ノ上昭和二年一月一日銀八百元ヲ支拂ヒ韓ハ同四日釋放セラレタ
ルカ犯人ノ檢舉ヲ見ルニ到ラス

6.10
S 1.1.1.0-39 239

外務省

0239

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

分類(1.1.0.21-12-2)

昭和6 二二二四七 暗

漢口 本省

九日後發 十二月十日發着

亞

幣原外務大臣

第八六二號

沙市發本官宛電報

第四五號

支へ電報アリタシ

第一號

貴電合第一七〇八號ニ關シ

取調へタル處當地ニ於テハ在留外國人極メテ少キ關係上平時本件關係事項ノ例證トスヘキモノナキモ今次滿洲事件ニ依ル排日ニ基キ吉

坂根總領事

記 滿洲日支衝突關係一件 善後支那局長 漢口調查材料

外務省

S 1.1.1.0-39

240

10240

田洋行取引妨害事件(漢口宛電報第三九號及十一月十七日附公領第一二號拙信参照アリタシ)及我軍艦ニ對スル投石事件(漢口宛拙電第四四號参照)ハ本件實例ト云フヲ得ヘク殊ニ對我軍艦投石事件ノ如キハ如何ニ支那官憲ノ無節制ナルカラ證スルニ足ルハ勿論又國民文化低級ノ禍源ト云フヲ得ヘシ
大臣へ轉電アリタシ

外務省

S 1.1.1.0-39

241

0241

機密公第二〇〇號

昭和六年十二月九日

在鄭州（漢口滯在中）

領事 田中莊太郎

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

昭和六年十二月七日附在華公使宛機密公第八五號信寫送付

件名

支那實狀調査資料報告ノ件

支那實狀調査資料報告ノ件

6.11

S 1.1.1.0-39

242

0242

外務省

公機密第八五號

昭和六年十二月七日

在鄭州（漢口滯在中）

領事 田中莊太郎

駐中華民國

特命全權公使 重光葵殿

支那實狀調査資料報告ノ件

在漢口坂根總領事宛合第一七〇八號電報御來示之本件ニ關シ當館管内ニ於テ生シタル日本及日本人關係ノ分ヲ今回時局以前及時局ニ入りテヨリノ二期ニ區分シ更ニ支那人關係ノ分ヲモ附シ別添（正副二通）ノ通り稟報ス

本信寫送付先 外務大臣、在漢口總領事

6.11

S 1.1.1.0-39

243

0243

外務省

支那實狀調査資料（在鄭州日本領事館管内）

第一 今回時局以前ノ分

一 不當課税ノ類

(1) 河南省地方公債ノ強制割當、昭和二年即民國十六年十二月中國民革命軍第二集團軍（馮玉祥直轄）カ中央政府歸屬中ニ於テ河南省鄭縣政府ヲシテ日本棉花株式會社並東洋棉花株式會社各鄭州出張所ニ對シ河南省地方公債ナルモノヲ夫々強制割當テタリ、其際日本棉花出張所主任ノ如キハ日本商社タルノ故ヲ以テ之ヲ拒絕セシカ深夜十二時二十餘名ノ軍隊ノ爲メ縣公署ニ拉致セラレ將來同社ノ事業ニ妨害ヲ加フヘシト強迫セラレ本社ニ電照ノ餘裕ヲモ與ヘラレス同夜二時半迄監禁セラレ百方嘆願ノ上銀八千元ノ公債負

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

244

0244

擔ヲ餘義ナクセシメラレ東洋棉花側ニ於テモ殆ト同様ノ強制ノ下ニ銀一萬元ヲ負擔セシメラレタリ、而シテ日綿ハ第二、三期利息トシテ銀四百八十元、東棉ハ第二、三、四期利息トシテ銀九百元ヲ各支拂ハレシ外元金ハ勿論其後ノ利息ニ至ル迄兩社カ直接又ハ在漢口總領事館ヲ經テ催促セルニ拘ハラズ今日迄一文ノ支拂モ受クルヲ得ス

(2) 第二集團軍運輸司令部ノ貨車附加税強徴、昭和二年即民國十六年中第二集團軍ハ平漢、滬海等ノ鐵道貨車ヲ同集團軍運輸司令部ノ統轄ニ收メ一致貨物ハ貨物軍事附加税ナルモノヲ前納シテ貨車ヲ豫約スルニ非レハ運送スルヲ得サルノ制度ヲ設ケ日本棉花出張所ハ已ムヲ得ス同年十一月中銀八萬元ヲ豫納シ爾來貨車ノ配給ニ依

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

245

0245

リ銀三万三千五百八十二元ヲ回收セルノミニテ殘銀四万六千四百十八元ハ地方當局ノ屢次更迭償還責任回避ノ爲メ今日ニ至ル迄回收スルヲ得ス當時前外交部長王正廷ハ龍海鐵路督辦トシテ鄭州ニ駐在シ本件繳納問題ニ親シク關與シ居タルモノナリ

(以上(4)(5)兩項ニ付詳細ハ昭和六年一月十九日附在漢口坂根總領事發在南京上村領事宛領機密第一號「在文公使宛機密第三二號、外務大臣宛機密第五七號」參照)

ニ支那軍隊ノ本邦商社所有構内ニ占據事例

昭和二年即民國十六年國民革命軍第二集團軍(馮玉祥直轄)カ中央政府歸屬中頃ヨリ最近ニ至ル迄時ニ軍ノ所屬ハ中央ヨリ離レテ獨立セル時期モ含マルルモ通シテ在鄭州日本棉花出張所構内及建

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

246

0246

物ヲ入り替リ軍隊カ強制占據セル事實ニ數十回ニ及ヒ其都度同出張所ヨリ直接又ハ在漢口日本總領事館ヲ經テ當該官憲ニ交渉セルハ勿論ナルモ遂モ效果ナク殊ニ各軍隊ヲ通シ占據中借料ノ如キ分文支拂ハサルハ勿論同出張所所有ノ石炭其他ノ消耗品ヲ消費シ家具什器ヲ占用シテ何等補償ノ途ヲ講セス殊ニ無紀律ナル支那軍隊ノ常トシテ硝子窓、床板等ヲ手當リ次第破壞燒用スル等ノ暴狀ヲ姿ニシ之等ノ損害ハ數千元ニ達スルモ支那官憲ヨリ毫モ顧ミラレス殊ニ主トシテ馮玉祥直轄軍隊ノ占據中ノ事實ナルカ彼等ハ他人ノ所有構内ニ無斷無償ニ起居シ乍ラ毫モ之ヲ德トセス邦人出張所員及使用支那人ノ面前ニ於テ朝夕ノ訓話ニ排日思想ヲ鼓吹シ軍隊訓練ノ號令等ニ「打倒日本」等ノ排日標語ヲ織リ込メル皮肉ヲ毎

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

247

0247

日演シ居レリ、右軍隊ノ日本棉花構内占據事實ハ昭和六年二月鄭州領事館開館以後ニ於テモ入り替リ軍隊（中央直屬）カ占據セント試ミシ實例十數回ニ違セルモ領事館ノ保護ニ依リ其ノ都度之ヲ拒絶シ今日至ルヲ得タリ

邦人所有貨物ニ對スル暴行

河南省奧地ニ産スル桐材ハ燃料トシテハ火力弱ク家具材トシテハ支那式ニ使用シ不適當ニシテ僅ニ日本ニ送り下駄及家具類ノ材料ニ使用セラレ之カ買集輸出ニ從事スル本邦人ハ奧地農民等ヨリ甚タ歓迎セラレ居ルハ周知ノ事實ナルカ從來屢々起レル排日運動ノ際排日ヲ事トスル不法團體ハ已ニ邦人ノ所有ニ移レル桐材ヲ抑留沒收セル事實兩三回ニ出マラス其都度當業者ヨリ直接又ハ在漢口

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

248

0248

總領事館ヲ經テ地方官憲ニ保護ヲ要求セルモ一回トシテ效果アリシ事ナシ、右ニ依ル損害額ハ鄭州領事館開館前ノ事實ニ屬シ記録不備ニテ一方當業者モ四散セル今日の確ノ數ヲ示スヲ得サルモ相當多額ニ違スル見込ナリ

此他邦人所有輸出品及支那人所有日本品ニ對スル前記不法團體ノ暴行事例尠カラサル見込ナルモ的確ニ列擧スルニ足ル材料ナシ

居住邦人ノ自由束縛

主トシテ昭和六年二月鄭州領事館開館以前殊ニ馮玉祥掌權時代ノ事實ナルカ鄭州居住邦人（輸出商及陸軍武官其他一般旅行者）ニ對シ地方官憲ハ同地カ開放地タル關係上其居住ヲ禁止スルカ如キ事實ハナカリシモ其居住中生命財産ノ保護ト稱シ事實嚴密ナル監

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

249

0249

視ヲ加ヘ居タルハ當時在漢口總領事館ニ對スル類々同地居住邦人ノ訴ヘ出テニ依リ事實ナルカ如シ

第一今回時局ニ入りテヨリノ分

一軍憲ノ排日宣傳

今夏萬寶山事件、朝鮮事件等ニ端ヲ發シ支那全國的ニ排日運動勃發スルヤ鄭州地方ニ於テモ各級黨部及工會等ノ諸團體主トナリ排日宣傳ヲ開始セル處一方開封行營主任(兼河南省主席)劉峙ハ右諸團體ノ運動熾烈トナラサルニ逸早クモ數次ノ紀念週等公會ノ席上ニ於テ部下士卒ニ對シ露骨ナル排日宣傳ヲ爲シ在鄭州領事館ヨリ其注意ヲ喚起セル處事ハ軍ノ機密ニ屬ストノ不誠意極マル旨辭ヲ以テ應對セリ

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

250

0250

(詳細ハ昭和六年七月二十三日附外務大臣宛機密第一三五號
同七月二十七日附在支公使宛機密第六三號並機密第六四號

参照)

劉峙ノ如キ軍部主要人カ斯カル態度ニ出テシヲ以テ爾來中央系ノ諸師團特別黨部及特ニ第四師長徐庭瑤ノ如キ右ニ倣ヒ排日宣傳ニ努メタリ

一縣黨部公用郵便物検査(附電報妨礙)

滿洲專變勃發直後タル昭和六年九月下旬中鄭縣縣黨部ハ鄭州領事館關係者及鄭州在留一般邦人ニ宛テタル私信郵便物ハ勿論同領事館宛公用郵便物ヲ開封検査ヲ爲セリ右ニ關シ同領事館ヨリ鄭縣縣長ニ抗議セル處當初意外ニモ縣長ハ前記ノ事實及公私發信物モ同

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

251

0251

様縣黨部ニ於テ検査シ居ル事實ヲ述ヘ右検査ハ何等差支ナキ行爲ナリト稱シ更ニ同領事館ノ懇々説明セル處ニ依リ右検査ノ非ヲ悟リ被検査郵便物ハ其隨配達シ來レリ但シ滿洲事變勃發前後約一ヶ月間日本内地及上海漢口等ヨリ同領事館並ニ在留一般邦人ニ宛テタル郵送新聞ハ殆ト全部配達セス又タ發受公私郵便物ニシテ内容物紛失明ナル實例モアリ其他着否不明ノ郵便物相當アルヘキモ取調ノ途ナシ

尙ホ右郵便物ト時ヲ同シウシ鄭州領事館及在留一般邦人發受ノ電報ハ甚タ延着シ中ニハ不着ノ實例モアリタルカ右ハ何レニ於テ何レノ機關ノ爲セル妨碍ナリヤ取調ノ途ナシ

(在支公使宛往電第一〇號、昭和六年九月二十七日附外務大臣

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

252

0252

宛機密第一六八號、同十月十六日附在支公使宛機密第八〇號同十九日附在支公使宛機密第八三號参照)

第三支那人關係事項

前記第一及第二ニ列記セルハ何レモ日本又ハ日本人關係事項ナルカ右ノ外支那人關係ニ於テ發生セル司法、行政及課税ノ不當不法ノ實例ハ河南省カ他地ニ比シ中央政府ヨリ遠サカレル所謂田舎地ニ屬シ殊ニ近年頻々政争ニ依ル兵火ノ中心地ト爲リ屢々爲政者ノ交迭行ハレシ土地柄トテ亟メテ多々アルヘキハ想像ニ難カラス居常聞知セル實例尠カラサルモ的確ノ實例ヲ擧グル事困難ナルヲ以テ茲ニ略ス

6.11

S 1.1.1.0-39

253

0253

外務省

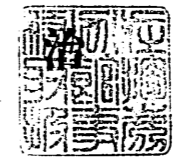
木内君

機密公簿ニ三三第

昭和六年十二月九日

在拘鹿領事分館

事務取扱 齋藤 孫



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

昭和六年十二月九日附奉大總領事宛

機密公簿第一〇七號公信寫送付

件名

一、當館管内ニ於ケル中國側ノ不法行為
及被害ニ関スル件

昭和六年三月拾六日
別紙添付

S 1.1.1.0-39

254

0253-2

鐵道公領第一〇八號
昭和六年十二月九日

在樹鹿
分館事務取扱 齋藤孫治

在奉天
總領事代理 森島守人 殿

當館管内ニ於ケル中國側ノ
不法行為及被害ニ関スル件
十一月二十五日附貴電合第九八七號(贈送)
ニ関シ當館管内ハ實地タル關係上大正四
年ノ所謂二十一ヶ條々約ニ反抗シ来リタルノ

在鐵嶺日本領事館拘鹿分館

ミナラス在留邦人ニ對スル土地家屋ノ
貸借ニ関シ事毎ニ正迫ヲ加ヘ高租ハ勿論
小作契約及借家契約モ壹年限リトシ之ニ
及スル者ハ處罰スル規定ヲ設ケテ新移入者
ヲ阻止シ以テ今日ニ至レル外別ニ取立テ指摘
スル程ノ事ナク之御參考トシテ尤記ノ通り
茲ニ報告申進ス

記

一 昭和二年四月十六日東豐縣禁烟局員ハ邦
人藤山興作ヲ不法監禁セリ
公信番號 昭和二年七月二十八日附貴館宛公
領第二八號

在鐵嶺日本領事館拘鹿分館

一 大正十一年十二月一日ヨリ同二十一日ニ至ル間ニ西

S 1.1.1.0-39

256

0255

S 1.1.1.0-39

255

0254

安縣及東豈縣在番邦人中軍隊ノ兵変及馬
 賊ノ襲撃採奪等ノ被害約貳万五千圓ニ達ス
 公使番邦 昭和二年十二月八日附貴館宛公領第
 五八號
 一 昭和四年八月中國官憲ハ在番鮮人居住阻止
 ノ便法ヲ訓令セリ
 公使番邦 昭和四年九月二十四日附貴館宛機
 密公領第二〇號
 一 昭和五年三月十二日西豐縣長ハ地主ヲシテ在
 留鮮農ノ小作契約ヲ取消シ鮮農ノ退去ヲ
 迫レリ
 公使番邦 昭和五年三月十五日附貴館宛
 機密公領第八號

在鐵嶺日本領事館拘鹿分館

S 1.1.1.0-39

257

0256

一 昭和六年四月中國官憲ハ在番小作鮮農ニ
 對シ地主ノ産備人トシテ課税セリ
 公使番邦 昭和六年四月二十一日附貴館宛
 機密公領第二八號 今五月十五日附機密公領
 第二九號
 右ノ他昭和三年以降同六年九月一日ニ至ル間匪
 賊ノ為殺害サレタル者四名アリ
 以上昭和六年九月一日現在調査

本信寫送付先
 外務大臣 鐵嶺領事

在鐵嶺日本領事館拘鹿分館

S 1.1.1.0-39

258

0257

機密公領第二三七號

昭和六年十二月十日

在坊子出張所主任 草野松雄

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

公信寫送付ノ件

昭和六年十二月十日附在華公使宛機密公領第五一號拙信寫送付ス

件名

聯盟調査員ニ對スル中國實情説明資料進達ノ件

外務省準備委員會

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

259

0258

機密公領第五一號

昭和六年十二月十日

在坊子出張所主任 草野松雄

在華特命全權公使 重光葵 殿

聯盟調査員ニ對スル中國實情説明資料進達ノ件

本件ニ關シ實電合第一七〇八號御訓令ノ趣敬承當所受持區域ニ關スル分(一)不取敢別紙ノ通り進達ス右御査閱相成様致度

本信寫送付先

外務大臣、北平、青島、濟南、南京、芝罘、張店、博山

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

260

0259

(四) 兩國吉三郎外三名ニ關スル事件。
(五) 立石辨一郎事件。

6.11

S 11.1.0-39

262

0261

は(七)

在坊子帝國總領事館出張所
聯盟調査員ニ對スル中國實狀説明資料(一)
一、邦人身体、財産ニ對スル不法侵害。
(一) 統制ヲ失ヘル軍隊ノ行動ニ依ル被害。
(1) 南北兩軍膠濟沿線邦人家屋破壊掠奪事件。
一、山東ニ關スル條約ノ違反。
(一) 膠濟沿線都市ノ未解放ノ件。
一、邦人ニ對スル警察權ノ不當ナル行使。
(一) 緒方春樹事件。
(二) 小松流止事件。
(三) 饒田直事件。

6.11

S 11.1.0-39

261

0260

は(七)

一、邦人身体、財産ニ對スル不法侵害。

(一) 統制ヲ失ヘル軍隊ノ行動ニ依ル被害。

(1) 南北兩軍膠濟沿線邦人家屋破壊掠奪事件。

昭和五年夏期戰火山東ニ波及シ南北兩軍膠濟沿線淄河ニ對戰セルカ、七月二十七日ニ至リ韓復榘軍ハ右淄河ノ防禦陣地ヲ放棄一時東方ニ退却ヲ開始シ爾來八月十七日再ヒ山西軍ヲ青州以西ニ壓迫スルニ至ル迄約二旬ノ間當所受持區域内東丈嶺ヨリ西堯溝ニ至ル迄戰火ノ中心地帯ト化シ、我居留民ハ生命ノ危險ニ瀕シ韓軍側ノ希望モアリタルニ付之レテ青島及濟南ニ避難セシメタリ。右ノ期間前掲地帯中縣居留民家屋ハ兩軍ノ砲火ヲ受ケ且同地、蝦蟆屯、昌樂、堯溝ノ各地居留民家屋ハ是等兩軍ノ隊及暴民ノ爲破壊セラレ屋内財物掠奪ヲ

外務省

は(一)

6.11 S 1.1.1.0-39

263

0262

蒙レリ。

當時右地方ニ於ケル邦人ハ總數百十二戸ニシテ内右掠奪被害家屋ハ蝦蟆屯一、縣三十三、昌樂十八、堯溝二、計五十四戸ニ達シ、縣最モ甚クシク(總戸數三十五戸中被害三十三戸、内數戸ハ掠奪、砲火並ヒ受ケタリ)昌樂之ニ次ク(總戸數二十戸中十八戸)、此損害査定額金九千六百十八圓五十六錢ニシテ他ニ縣ニ於ケル直接戰火砲撃ニ因ル被害金九百圓九十五錢及坊子ニ於ケル盜難被害金三百圓ヲ合算シ總被害額金一萬八百十九圓五十一錢(銀換算額一萬八千三十二元五十一仙)ニ達ス

右ニ關シ我方ニ於テハ張店受持區域内ニ於ケル被害ヲ一括シ爾來山東省政府當局ト逐次交渉ノ結果昭和六年十月銀一萬四千四百七十一

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

264

0263

五、九二五	在濟南總領事	在坊子主任	機密公領第七四號 (公使宛機密公領第六八號)	受持區域內各地居留民財產被害調査送付ノ件
五、九一六	在支臨時代理公使	在濟南總領	機密第一七二號	膠濟沿線損害要償ニ關スル件
五、九一八	在濟南總領事	在坊子主任	機密公領第七六號 (公使宛機密公領第七九號)	受持區域內居留民財產被害賠償交渉方ニ關スル件
五、九一一	外務大臣	在濟南總領事	機密第五四九號	膠濟沿線邦人被害要償方ニ關スル件
五、九二二	外務大臣	在濟南總領事	機密第五七八號	膠濟沿線邦人被害要償方ニ關スル件
六、一一八	在濟南總領事	在坊子主任	機密公領第三號 (公使宛機密公領第三號)	受持區域內居留民財產被害要償方ニ關スル件

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

266

0265

日附	宛名	發者	番 號	件 名
五、八二五	外務大臣	在坊子主任	機密公領第二〇九號 (公使宛機密公領第六二號)	南北兩軍交戰掠奪等 ニ因ル受持區域內各地 居留民財產上ノ被害 ニ關シ報告ノ件

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

265

0264

元三十六仙(張店受持區域內被害ヲ台シ銀二萬二千元)ヲ賠償セシメ地方的ニ解決セリ。
 惟フニ當時我方居留民家屋ハ各戸毎ニ國旗其他ノ記號ニ依リ日本商タルコトヲ明カニ表示シ居タルニモ拘ハラヌ主トシテ南北正規軍ニ依リ斯ル暴行ノ演セラレタルコト注意ヲ要スルトコロナリ。
 参照公信。

外務省

一、山東ニ關スル條約ノ違反。 （一）膠濟沿線都市ノ未解放ノ件。 参照公信。			
日附	宛名	發者	番 號
六三 二〇	在張店主	外務大臣	亞一機密第五號
	任		膠濟鐵道沿線ニ商埠地 開放方ニ關スル件

6.11 S 1.1.1.0-39

268

0267

外務省

は（ト）			
六三 一九	外務大臣	在濟南總領事	機密第六八號
			膠濟沿線邦人被 害要償方ニ關ス ル件
六三 一六	在張店主	在濟南總領事	機密第三五號
			膠濟沿線邦人被 害要償方ニ關ス ル件
六九 一七	在濟南總領事	在坊子主任	機密公領第三一號 （公使宛機密公領 第三一號）
			膠濟沿線邦人財 產被害要償懸案 解決方ニ關スル 件
六一〇 一九	外務大臣	在濟南總領事	機密第四六四號
			膠濟沿線邦人被 害要償解決方ノ 件
六一〇 三〇	外務大臣	在坊子主任	機密公領第二〇六號 （公使宛機密公領 第三八號）
			膠濟沿線動亂被 害賠償金ノ處理 ニ關シ報告ノ件

6.11 S 1.1.1.0-39

267

0266

邦人ニ對スル警察權ノ不當ナル行使。
 (一) 緒方春樹事件。
 昭和四年九月六日昌樂居留邦人緒方春樹ハ同地北方約二支里ナル三里庄地方ヲ通行中同地民團々兵ノ爲身体検査ヲ受ケ快上快ト稱スル「モルヒネ」含有物品ヲ携帶セルヲ發見セラレ分團長ノ訊問ヲ受ケ同日昌樂縣法院ニ押送投獄セラレ翌七日法院長ノ訊問ヲ受ケ爾來十七日迄獨房ニ投セラレタルカ、中國側ニテハ我方ヨリノ引渡要求ヲ無視シ之ヲ濟南ニ押送スルコトトシ十七日益都縣政府ニ翌十八日同縣政府ヨリ臨淄縣政府ニ順次陸路押送シ十九日同縣政府ヲ發シ張店ニ到着シタル際本人同地總領事館出張所ニ保護方願出救出サレタル

外務省

参照公信。

日附	宛名	發者	番	號	件名
四九一八	在濟南總領事代理	在坊子主任普通公領第一〇四號本邦人拘禁ニ關スル件	(公使宛普通公領第六二號)		昌樂在住緒方春樹ニ關スル件
四九一九	在濟南總領事代理	在張店主任普通第七五號			支那側ノ邦人犯罪者取扱振ニ關スル件
四九二四	在青島總領事	在坊子主任普通公領第一四四號	(公使宛普通公領第六四號)		緒方春樹拘禁ニ關スル件
四九二四	在坊子主任	在濟南總領普通第五一號			

外務省

四九三〇在坊子主在濟南總領普通第五二號
任 事代理

緒方春樹拘禁ニ關スル件

二小松流止事件。

昭和四年十月當時昌樂居留民小松流止ハ同地ニ於テ禁制藥品通稱丸子ノ製造密賣ヲ爲スヘク同月二十二日豫テ知合ナル青島熱河路二十五號居住大阪府人海產物商南野重三郎ニ是カ原料タル「ヘロイン」二十匁及製造ニ用フル金網等ヲ昌樂驛ニ密送方依頼シタル結果南野ハ是等依託品ヲ取揃ヘ二十三日之ヲ密送シタルヲ以テ小松ハ使用支那人ヲ伴ヒ同驛ニ出迎ヘ右支那人ヲシテ受領セシメントシタル際同所鐵路局巡警ニ發見現品ト共ニ檢舉セラレ同日夜行列車ニテ青島公安局ニ送致セラレ一應ノ取調ヲ受ケタル上翌二十四日在青島總領事

外務省

6.11 S. 1.1.1.0-39

271

0270

館警察署ニ身柄携帯品（證據品タル「ヘロイン」ヲ除ク）ト共ニ送致セラレタリ

二菱田直事件

昭和四年十月二十六日午後昌樂縣公安局長郭維ハ拳銃ヲ携帯セル局員數名ヲ伴ヒ當時同地居留邦人菱田直方ニ赴キ家宅搜索ヲ行ハントシ偶々直ハ青島ニ旅行不在ナリシノミナラス留守中ノ同人妻靜江カ支那語ヲ解セサリシ爲郭局長ハ附近居住ノ阪口萬吉ヲ呼ビ寄セ強テ同人ヲ立會ハシメ土足ノ儘ニ屋内ニ侵入搜索ヲ敢行シ阿片吸食器、「モルヒネ」含有藥品「丸子」同快上快、快上快製造機械及「ヘロイン」若干ヲ發見押收シタルカ更ニ菱田靜江ヲ引致セントセシモ右ハ阪口ノ保證ニ依リ中止セリ。

外務省

6.11 S. 1.1.1.0-39

272

0271

尙郭局長ハ翌二十七日日本件交渉ノ爲出張セル署員ニ對シ頗ル不遜ノ態度ヲ示シ右署員ヨリ斯ル措置ノ不當ナルコトヲ詰問セルニ對シテハ昌樂ニハ日本領事館無ク時日ヲ遷延スルニ於テハ證據燬滅ノ虞アリト抗辯責任ヲ廻避シ僅カニ將來ノ保障ヲ與ヘタリ。

參照公信。

日附	宛名	發者	番 號	件 名
四一〇二九	在青島總領事	在坊子主任	普通公領第一五三號 (公使宛普通公領第 七〇號)	昌樂公安局長ノ 不法ニ關スル件
四一〇二九	在濟南總領事	在坊子主任	機密公領第一一二號 (公使宛機密公領第 七一號)	昌樂公安局長ノ 不法ニ關スル件
四一一一一	在坊子主任	在濟南總領事代理	機密公領第五九號	饒田直禁制品取 扱ニ關スル件

外 務 省

6.11 S 1.1.1.0-39

273

0272

四一一一五 在濟南總領事代理 在坊子主任 機密公領第一一六號 饒田直禁制品取扱ニ關スル件 (大臣宛機密公領第二扱ニ關スル件 四七號)

(四)兩國吉三郎外三名ニ關スル事件。

昭和五年九月七日午後昌樂縣々長李樹德ハ自ラ縣公安局長及武裝兵並巡警等十數名ヲ引卒指揮シ同地驛前居住邦人兩國吉三郎、野中小三郎、古谷信次郎及李達文(鮮人)ノ四戸ヲ禁制藥品取扱ノ故々以テ強制捜査シ「ヘロイン」等合計價格約一千七百元ヲ押收シ、右四名ノ身柄ヲ縣政府ニ抑留セリ。

右ニ關シ同縣長ハ我方ノ抗議ニ依リ翌八日ニ至リ犯人身柄及證據品トシテ押收物件ノ一部ノ引渡ヲ實行セルカ、其後數次ノ交渉ヲ經テ其不法ヲ認メ口頭並非公式文書ヲ以テ遺憾ノ意ヲ表シ將來ヲ保障セ

外 務 省

6.11 S 1.1.1.0-39

274

0273

ルニ付一應解決セルモ押收物件ハ遂ニ返却セス。
 尙本件ハ同縣長カ就任日尙淺ク且其経歴上(軍人出身)涉外事項處
 理ニ關シ無経験ナリシ爲發生セル事件ト認メラレタリ。
 参照公信。

日附	宛名	發者	番 號	件 名
英一〇一	外務大臣	在坊子主任	機密公第二一八號 (公使宛機密公領 第六七號)	昌樂ニ於ケル支那 官憲ノ邦人家屋搜 査身柄抑留ニ關ス ル件
英一〇二	外務大臣	在坊子主任	機密公第二四二號 (公使宛機密公領 第七〇號)	昌樂ニ於ケル支那 官憲ノ邦人家屋搜 査身柄抑留事件交 渉解決ニ關スル件
英一〇八	外務大臣	在坊子主任	機密公第二五二號	昌樂事件責任者同

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 275

0274

(四)立石辨一郎事件。
 膠濟沿線黃旂堡居住雜貨商立石辨一郎ハ昭和六年八月十二日青島ヨ
 リノ歸途同驛ニ下車セル際同所鐵路局巡警ヨリ其身体及手荷物ノ強
 制検査ヲ受ケ、禁制藥品「ヘロイン」少量ヲ發見セラレ同日身柄ヲ
 青島ニ押送セラレ同地鐵路總局ヲ經テ總領事館ニ引渡サレタリ。
 右ニ關シ立石ハ終始犯行ヲ認メス、該「ヘロイン」ハ據テ同人ニ反
 感ヲ抱ケル鐵路局巡警カ検査ニ際シ故意ニ投入シ恰モ發見セルカ如
 ク裝ヒ誣告セルモノナリト稱ス。

(公使宛機密公領縣長更迭ニ關スル
 第七三號
 件)

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 276

0275

機密第七〇四號

昭和六年十二月十一日

在青島總領事 川越茂

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

昭和六年十二月十一日附本官發重光公使宛機密第一七〇號寫送付

件名

民國側不法行為調査ニ關スル件

國際聯盟支那調査
外務省準備委員會

はこ

0276

6.11
S 1.1.1.0-39

277

外務省

機密第一七〇號

昭和六年十二月十一日

在青島總領事 川越茂

在中華民國

特命全權公使 重光葵殿

民國側不法行為調査ニ關スル件

十一月下旬貴電聯盟理事會派遣委員ニ對スル説明材料ニ關シ調査済
ノ分不取敢別紙ノ通報告申進ス

本信寫送付先 外務大臣

はこ

0277

6.11
S 1.1.1.0-39

278

外務省

一、山東關係條約不履行ニ關スル件

(1) 外國人ノ市政參與

(イ) 公共施設ノ經營及維持ニ付外國居留民團體ニ公正ナル代表權ヲ有セシムヘキコト及(ロ) 地方自治制度ヲ定ムル法令ノ制定及其ノ一般の適用ヲ見ルニ至ル迄ノ間外國居留民ノ福祉及利益ニ直接ノ影響アル市政事項ニ付民國地方官憲ニ於テ該居留民ノ意見ヲ確ムヘキコトハ山東懸案解決ニ關スル條約附屬書ノ二及六ニ明白ノ規定存スルニ拘ハラヌ山東懸案細目協定當時並行政移管後ヲ通シ屢次我方ヨリ民國側ニ對シ具體的條項ヲ示シテ之カ實施ヲ要求スル所アリタルモ全然誠意ナク現ニ公共施設ノ經營及維持其他居留民ノ福祉及利益ニ直接ノ影響アル市政事項ハ悉ク市

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

279

0278

政會議ノ決議ニ依リ任意ニ實施シ未タ會テ外國居留民ノ意嚮ヲ徴シタル事實ナシ

(2) 膠濟鐵道沿線都市ノ解放

華府山東會議並山東懸案細目協定會議ヲ通シ我方ヨリ開埠ノ實行ヲ迫リ民國側ヨリハ民國十一年(一九二二年)五月三日額外交渉長ヨリ我駐支公使ニ對シ張店、坊子、高密、縣、濰川、博山、周村、青州ノ八都市開埠ノコトニ函達決定ノ旨通知シ來リタル事實アルモ其後民國側ハ我方ノ要求アル毎ニ省民ノ反對ヲ口實ニ遷延シ今尙實施ヲ見サル實情ナリ

(3) 青島第一埠頭擴張工事ノ完成

日本行政時代青島港出入船舶逐年増加シ埠頭増築ノ必要生スルニ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

280

0279

至リタルヲ以テ大正十年（一九二一年）第一埠頭ノ南側未完成部
分ニ二萬噸級及二三千噸級各二隻ヲ繋留シ得ル岸壁ノ築造ヲ計畫
シ三箇年繼續事業トシテ翌十一年起工セリ而シテ右工事ハ行政移
遷ニ際シ民國側政府ニ於テ豫定計畫ニ從ヒ完成スヘキコトナリ
山東懸案細目協定了解事項第三ノ二ノ明約ヲ見タル次第ナルカ行
政移遷後出入船舶ハ依然増加ノ趨勢ヲ示シ本工事完成ノ必要迫レ
ルニ拘ハラズ民國側ハ今日迄放置シテ顧ミス右工事ニ使用ヲ條件
トシテ我方ヨリ引繼キタル浚 船ノ如キ殆ト用ヲ爲ササル程度ニ
破損シ居レリ

ニ條約違反其他不當行爲ニ關スル件

(1) 不當ナル私有地ノ讓渡制限

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

281

0280

獨逸又ハ日本行政時代ニ於テ一般外國人ノ取得セル土地所有權ハ
山東懸案細目協定附屬ノ交換公文ニ依リ將來日支外交機關ヲ通シ
テ其ノ效力ヲ決定スルコトナリ居レル處右效力ノ決定ト否トニ
拘ハラズ是等土地ノ讓渡カ自由ナルハ勿論ナリ然ルニ最近民國側
當局ハ本件效力決定迄讓渡ヲ禁止セムトスル態度ニ出テツツアル
ヲ以テ外國人土地所有者ハ多大ノ迷惑ヲ感シ居レリ

(2) 獨日文字契據ノ效力否認

民國十九年（一九三〇年）十二月青島市政府ハ「青島市驗換德日
文字不動産契據章程」ヲ制定シ獨逸又ハ日本行政時代ニ於テ獨逸
膠澳審判廳、獨逸人辯護士、日本民政署日本法院等ノ發給シタル
獨逸文字又ハ日本文字ノ不動産契據ハ民國二十年（一九三一年）

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

282

0281-1

十二月迄ニ一律中國文字ノモノト取換ヲ要ストナシ尙右期間經過
後取換ヲ受ケ居ラサルモノハ民國官廳ニ於テ公證ノ效力ナキモノ
ト定メタリ然ルニ此種不動産契據ニ關シテハ山東懸案解決ニ關ス
ル條約第二十四條同細目協定第四條及第六條等ニ夫々效力ノ保障
アリテ契據取換ノ必要ナク殊ニ取換ヲ爲ササルモノノ公證效力ヲ
否認スルカ如キハ明白ナル條約違反ナリ

(3) 土地使用ノ妨害

國武合名會社ハ日本行政時代ニ合法且公正ナル手續ヲ經テ其ノ所
有ニ係ル農地ノ内青島市外滄口所在約五萬坪ヲ市街地ニ變更シ行
政移管後モ民國十八年(一九二九年)迄ハ何等支障ナク家屋ヲ建
築シ來リタルカ同年國民政府ノ政權當地ニ入りテ以來本地ヲ回復

外務省

6.11
S 1.1.1.0-39

283

0281-2

セムト計畫シ建物ノ新築ハ勿論既存建物ノ増築修築迄モ禁止セム
トスル不當措置ニ出テツツアリ

(4) 條約上外國人ノ享有スル權利ノ曲解

山東懸案解決ニ關スル條約及同細目協定ニ於テ規定セララルル外國
人ノ權利利益即チ(イ)山東懸案解決ニ關スル條約第二十四條ノ既得
權(ロ)同條約附屬書第二及第六ノ所謂外國人市政參與權(ハ)山東懸案
細目協定第六條第一項及第二項ノ土地續租權等ハ外國人ノ均シク
之ヲ享有スル所ナルニ拘ハラヌ民國側ニ於テハ右條約ヲ以テ民國
對日本間ノ特約ナリトシ之ニ規定スル權利利益ハ總テ日本人ノミ
ニ限り其他ノ外國人ニ及ハストノ見解ヲ持シ爲メニ外國人ノ受ク
ル不便利重大ナルモノアリ

6.11
S 1.1.1.0-39

284

0282

外務省

(5) 土地貸下ノ不公平

(イ) 膠澳商埠地ニ於ケル土地貸下ハ公平且適當ニ辦理スヘキコト及
(ロ) 土地貸下出願者ノ國籍如何ニ依リ差別ヲ設クルコトナカルヘキ
コトハ山東懸案細目協定會議(大正十一年十一月十二日第三十回
會議)ニ於テ日支共同委員ノ意見一致シ決議トシテ成立シ居ル次
第ナルカ民國十八年(一九二九年)當地カ國民政府ノ治下ニ入り
テ以來市政府ハ表面上外國人ノ土地貸下申請ヲ受理スルモ貸下ハ
民國人ニ限り之ヲ許可シ全然右決議ヲ無視セリ唯タ本年三月市政
府ハ競租章程ヲ設ケテ市街地ノ貸下ニ限り競争入札ノ方法ヲ採ル
ニ至リタルヲ以テ幾分外國人モ均等ノ機會ヲ得ルニ至リタル次第
ナルカ尙工場地ニ付テハ依然之カ貸下ヲ中國人ニ限定シ外國人ハ

外務省

0283

6.11 S 1.1.1.0-39

285

中國人名義ノ租地ヲ買收スルノ外新タニ租權取得ノ途ナキ實情ナ

(6) 租權金徴收ノ不當

民國側現行租地章程ニ依レハ官有土地ノ貸下又ハ讓渡ニ租權金(一
種ノ權利金ニシテ市街地一公畝(百平方米)當二十元乃至四百
八十元工場地一公畝當二十元乃至三十二元但シ讓渡ノ場合ハ其ノ
半額)ヲ徴收スルコトトナリ居レル處獨逸又ハ日本行政時代ニ於
ケル貸下地ニ付テハ山東懸案細目協定第六條第一項及第二項ノ規
定存シ原定租借期間ハ勿論右期間滿了後ト雖モ引續キ三十年間日
本行政時代ニ於ケルト同一條件ニテ續租シ得ル特權アルヲ以テ右
期間内ニ讓渡ヲ行フモ現行租地章程ノ適用ヲ受クヘキ筋合ニ非サ

外務省

0284

6.11 S 1.1.1.0-39

286

ルコト勿論ナルニ拘ハラヌ民國側ハ之ニ租權金ヲ課セムトシ現ニ
外國人トノ間ニ問題ヲ惹起シツツアリ

(7) 外國人農業經營ノ阻止

日本行政時代ニ外國人ノ取得セル農業權ハ山東縣案細目協定附屬
書第四ノ規定ニ照シ行政移管後モ當然有效ニシテ民國側ハ國武農
場其他ノ大農場ニ限り公平ナル補償ヲ支拂ヒテ回收シ得ル次第ナ
ル處民國側當局ハ右協定ニ反シ外國人農場ノ經營ヲ一律阻止セム
トスル不法措置ニ出ラツツアリ

三、青島ヲ根據トセル日本人漁業ニ對スル壓迫狀況

當地ヲ根據トセル日本人ノ漁業ハ當地地方日管時代ニ於テ發達シ水
産組合ヲ組織シ魚市場ヲ設ケ行政引繼後ニ於テモ營業ヲ繼續シ居

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 287

0285

リ當方面中國人食糧問題ニ對シ重要ナル貢獻ヲ爲シ居ルモノナリ
昭和五年末ニ於ケル水産組合員四百九十二名ヲ算シ發動漁船四十
二隻帆船四十隻ヲ有シ右漁船及各種施設ニ對スル投資額一百數十
萬圓ニ達シ最近ニ於ケル水揚高八年一百萬元ヲ超過シ居レリ本年
二月及三月ノ二回ニ亘リ當地海關ハ百噸未満ノ發動漁船ノ外國及
公海ヨリ入港禁止及船荷證券ニ依ラサル鮮魚及鹽魚ノ輸入禁止ニ
關スル告示ヲ公布シ右ニ依リ事實上當地本邦漁業ノ經營ヲ不可能
ナラシメントシタルモ兩國政府間ニ於テ交渉ノ結果右告示ハ當分
延期トナリタルカ當地中國官民等ハ右機會ニ於テ邦人漁業ノ驅逐
ヲ目論ミ一方四月中旬漁業公司ノ設立計畫ヲ進ムルト共ニ他方中
國魚商等ノ日本側魚市場出入ヲ禁シ一般商民ニ對シ邦人漁獲物ノ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 288

0286

「ボイコット」ヲ宣言シ又日本側魚市場附近ニ監視人ヲ立テ中國魚商ノ出入及同市場ヨリ搬出スル魚類ノ行先ヲ監視セシメタリ邦人漁獲物ヲ購入セル一中國魚商ハ衛生上不都合アリタリトテ公安局ニ抑留セラレ又日本側魚市場前ニ於テ正服ノ中國巡警カ中國魚商ニ對シ日本品購入ヲ咎メタル事例一再ナラス或ハ魚類ノ鐵道運送ニ際シ中國側運送人ヲシテ之カ取扱ヲ拒否セシメタル等凡ユル妨害ヲ試ミタリ當館ハ事件發生毎ニ當市政府ニ對シ嚴重抗議シ來レルカ他面從來日本漁獲物ヲ取扱ヒ來レル中國魚商等ニ取り之ヲ禁止セラルルコトハ死活問題ニテモアリ等需要期ニ入ルニ及ビ九月新漁期ヨリ再ヒ中國魚商等ハ邦人漁獲物ヲ購入シ居レル處之レニ對シ目下ノ所何等妨害ナシ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 289

0287

四、青島取引所ニ對スル中國側ノ不當壓迫狀況
青島取引所ハ當地方日管時代ニ日華合辦會社トシテ設立セラレ兩國株主ヨリ半數宛ノ役員ヲ選出シ經營セラレ取引人亦兩國人ヨリ成リ行政引續後ニ於テモ右狀態ヲ以テ營業ヲ繼續シ今日ニ至レルモノニシテ兩國取引人ハ相互信頼シ極メテ平和ニ同取引所ニ於テ賣買取引ニ從事シ居レル次第ナルカ本年六月頃ヨリ當市政府ノ内命ニ依リ市黨部員及二、三中國野心家首謀者ト成リ國權回收ヲ標榜シ同取引所ノ潰滅ヲ期スルト共ニ中國人ノ資本ノミニテ同取引所ト同種物件ノ賣買取引ヲ爲ス交易所ノ設立ヲ目論ミ青島物品證券交易所籌備所ヲ設ケタリ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 290

0288

スルト共ニ取引所所屬中國取引人ニ對シ取引所脱退ヲ内命シ無理ニ交易所ニ於テ取引ヲ爲サシメ居ルモ何レモ申譯的ニ取引シ居ルニ適キス而シテ密カニ取引所ニ人ヲ派シ中國取引人ノ出入ヲ監視セシメ居リ一中國取引人ハ交易所籌備委員會ニ出席セザリシ故ヲ以テ市黨部ニ招致セラレ非國民ト屬セラレ又他ノ一人ハ取引所ニ於テ取引シタル爲メ市黨部ヨリ五千元ノ罰金ヲ課セラレタル等凡ユル妨害及威嚇手段ヲ講シ取引所ニ對シ壓迫ヲ試ミ仍テ交易所ノ成立ヲ保護助成セントシ居レリ之レカ爲取引所ノ機能發揮セラレズ左リトテ不安ナル交易所ハ利用スルニ足ラヌ目下事實上取引機關缺如ノ状態ニテ一般商民ノ被ル損害甚大ニシテ當地經濟界ハ不勢擾亂セラレ居レリ

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

291

0289

當館ハ當市政府ニ對シ右不當ノ壓迫行爲及當地經濟界擾亂ノ禍根タル交易所ノ出現阻止方ニ關シ交渉ヲ繼續シ居レルカ市政府側ハ商業ハ自由ナルヲ以テ中國取引人カ取引所ヲ去リ交易所ニ赴クモ自由ナリト稱シ之ニ應スルノ色ナシ

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

292

0290

外務省

機密第一七一號
 昭和六年十二月十一日
 在青島總領事 川越茂
 在中華民國
 特命全權公使 重光葵殿
 民國側不法行爲材料送附ノ件
 十一月下旬御電報ニ係ル本件材料一部別紙送附ス
 追而更ニ追送ノ管
 本信寫送附先 外務大臣

6.11 S 1.1.1.0-39

294

0282

はC

外務省

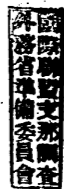
機密第七〇五號
 昭和六年十二月十一日
 在青島總領事 川越茂
 外務大臣男爵幣原喜重郎殿
 昭和六年十二月十一日附本官發重光公使宛機密第一七一號寫送付
 件名
 民國側不法行爲材料送附ノ件

6.11 S 1.1.1.0-39

293

0291

はC



一 編遣庫券強制買付ケノ件

昭和四年十月財政部ニ於テハ編遣庫券八千萬元ヲ發行スルヤ之ヲ其ノ管下各機關ニ割宛テ賣リ捌カシメタルカ八千元賣捌ノ割宛ヲ受ケタル當地麥粉特稅局ハ之ヲ麥粉特稅負擔者ニ強制的ニ賣付ケ（稅額ノ一割宛）之ヲ肯セサルニ於テハ麥粉ニ對シ輸出入ノ手續ヲ拒否スル方策ニ出テタリ、我方ニ於テハ其ノ不法ヲ詰リ度々抗議セルモ稅局ニ於テハ中央ノ命ナレハ致方無シトテ取り合ハス押賣ヲ續行セリ

昭和四年十一月七日附普通第六三五號外務大臣宛往信參照)

二 糾察隊ノ暴行取締不能ノ件

昭和四年八月當地ニ於ケル工人風潮惡化シ操業不能ニ陥リタル爲

外務省

は(ト)

6.11

S 1.1.1.0-39

295

0293

は(ト)

三 個人ノ私有物不法沒收ノ件

本邦人經營ノ紡績六社、製絲一、機寸二ノ九會社ハ已ム無ク一齊ニ工場ヲ閉鎖セルカ其際不良工人ハ糾察隊ナル私設警察隊ヲ組織シテ各工場ノ附近ヲ徘徊シ製品ノ積出、石炭ノ搬入等ヲ阻害スルハ勿論迷ニハ何等事件ニ關係無キ支那人例ヘハ工場内ニ居住スル本邦人ノ注文ニ係ル食料品ヲ配達セムトスルモノ、新聞配達夫、郵便配達人、自動車ノ運転手等ヲモ脅迫シテ工場ニ出入セシメス宛然極端ナル經濟封鎖ノ狀ヲ呈シタルヲ以テ我方ハ時ノ市長吳思豫ニ對シ再三再四之カ取締ヲ要求セルモ遂ニ目的ヲ達スルヲ得ス已ム無ク當分總テ日本人ノ手ヲ借りルノ策ニ出テタルコトアリ

本年五月十六日當地在留本邦人久原仲東ナルモノ沿線 縣ノ舊家

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

296

0294

支那人高某ヨリ 漢時代ノ古瓦五百七十個及壁畫ニ基ヲ買ヒ求メ
之ヲ膠濟鐵道ニ依リ青島ニ運送シ「チエツク」ト引換ニ貨物ヲ受
取ラムトセシ處青島驛貨物係ハ右ハ古物保存法ニテ外國人ニ賣渡
スコトヲ禁シラレ居ルモノナルヲ以テ引渡シ難シトテ引渡シヲ拒
絶セリ（古物保存法ハ其後六月十六日始メテ效力發生セルモノニ
テ當時ハ仍ホ適用ナカリシモノナリ）依テ當館ヨリ膠濟鐵路局ニ
交渉シタル處鐵路局ハ右ハ山東教育廳ノ命ニ基クモノナリトテ取
合ハス埒明カサルニ付濟南總領事ヨリ教育廳ニ交渉セル處教育廳
ハ右ハ中央教育部ノ命ナレハ當方ニ交渉ノ權限ナシト逃ケテ張リ
之亦取合ハス目下中央ニ於テ交渉中ナルモノ仍ホ解決ヲ見ス

昭和六年六月六日附機密第三四六號大臣宛公信參照

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

297

0295

四 不法輸出禁止ニ關スル件

本年五月當地在住本邦人久原仲東ナルモノ豫テ支那人ヨリ入手セ
ル壁畫四個ヲ日本ニ輸出セムトシ稅關一切ノ手續ヲ済マセ埠頭ニ
搬入シタルニ港務局當局ハ右ハ古物ナレハ輸出スルヲ得ストテ船
積ヲ拒絶シ當館ヨリ同シク南京政府ノ管下ニ在ル稅關カ承認セル
ニ港務局カ拒否スルハ不都合ナラスヤトテ理ヲ盡シ抗議セルモ之
ヲ認メス其儘トナリ居レリ

五 内地遊歴禁止ノ件

本件ハ當地ニ限ラス支那各地ニ屢々發生スル問題ナルカ最近ノ事
例ヲ示セハ當地居住本邦人光宗仲次ナルモノ（益豐燐寸會社主）
其ノ製品ヲ海州抗日會ノタメ不法抑留セラレタルヲ以テ之カ解決

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

298

0296

ノタメ自ラ海州ニ赴カムトシ游歴執照ノ發給ヲ出願シタルニ目下
 同地不穩ニ付執照ヲ發給セストテ之カ發給ヲ背セス遂ニ海州行中
 止ノ已ムナキニ至レリ
 右ハ支那政府カ外國人ノ生命財産保護ニ對シ無能力ナルヲ自ラ曝
 露セルモノト謂フヘシ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 299

0297

編者附言

原書ハ
 A. 1. 1. 0. 21-1-41
 滿洲日支關係
 事 支那關係
 與滿洲之關係
 外國部

寫

昭和6 二二五〇八 平

桑港 十二月後發
 本省 十二月十三日前着

幣原外務大臣

若杉總領事

第一二九號

太平洋會議ヨリ歸來セル加州労働聯盟幹事「シヤールレンバーク」ハ
 十一日當地「コンモンウエルス」俱樂部ニ於ケル演説（一般公衆ニ
 放送セラレタリ）ニ於テ日本ト支那ノ労働運動及其ノ現状ヲ詳述シ
 日本ヲ稱揚シタル上支那ノ實狀ヲ説明シテ其ノ無秩序ノ原因ハ軍閥
 ノ利己的跋扈ニ在リ國費ハ軍事費ニ浪費セラレ教育、經濟ハ無視セ
 ラレ兵士ノ如キハ匪賊ト何等擇フ處ナシ
 支那人ノ滿洲移住多數ニ上リタルハ支那本部ノ不安ニ追ハレタルニ

(分類 A. 1. 1. 0. 21-1-2-2)

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39 300

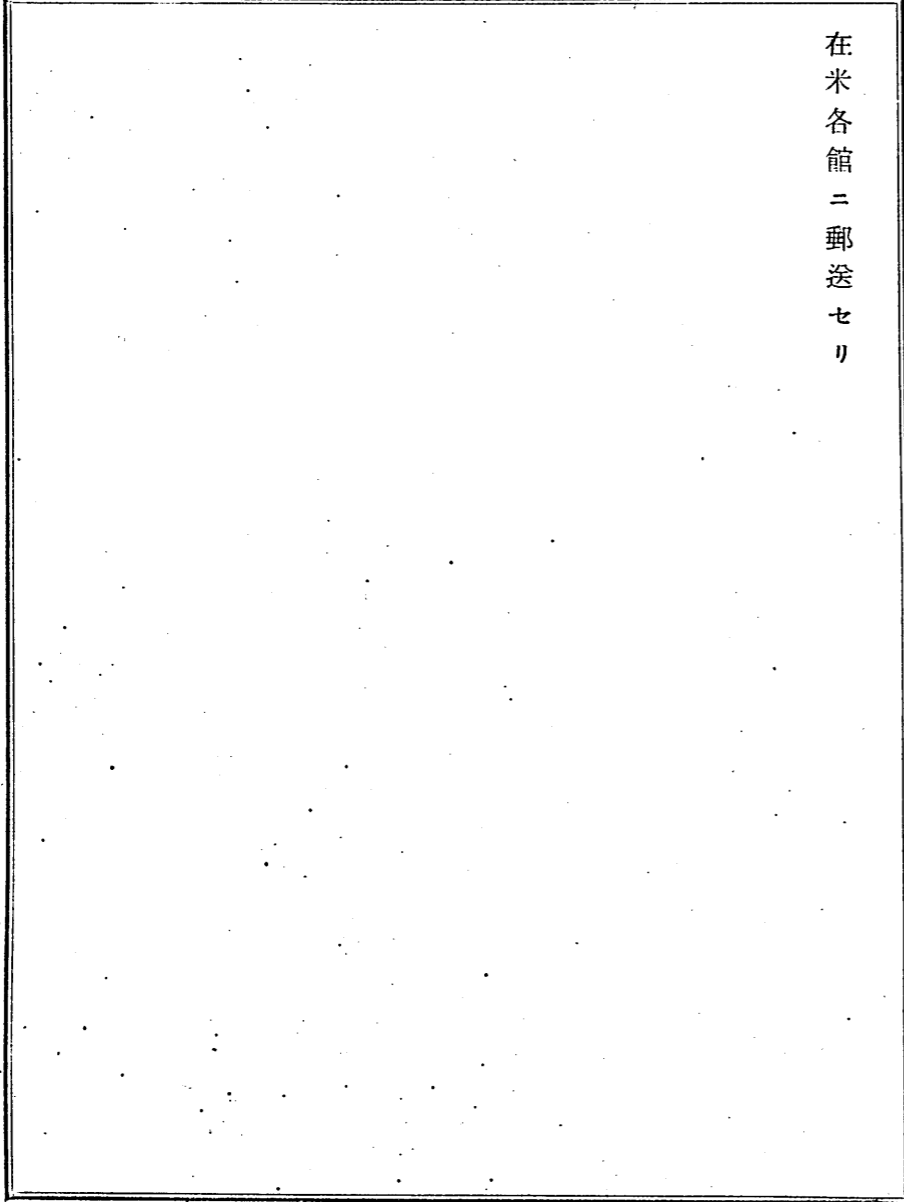
0298

依ル支那共和國ハ普通ノ意味ノ共和國ニ非スト爲シ滿洲問題ニ關シテハ日本ノ歴史的關係ヲ詳述シ支那ノ不平等條約廢棄態度ヲ述ヘタル上日本ノ附屬地外出兵ヲ米國ノ對「パナマ」「ニカラガ」及「ハイチ」干涉ニ比較シ又支那ニ於ケル「スタンダード、オイル」ノ利益カ馬賊ニ襲ハレタル時ハ米國モ決シテ聯盟ニ訴ヘサリシナル可シト述ヘ治外法權撤廢ノ不可ヲ論シ日支兵力優劣ノ差餘リニ甚タシキ故日支戰爭ハ不可能ナリト論シ支那ノ排日「ボイコット」及學校ニ於ケル排日教育ノ實狀ヲ詳述シ日支ノ問題ハ遠ク離レタル聯盟ノ解決スル問題ニ非ス太平洋國際聯盟ノ如キモノヲ組織シテ解決スル方賢明ナリト爲シ本問題ニ關シ「チエスター、ローウエル」ノ意見ニ全然反對ナルヲ遺憾トスト述ヘタリ

6.11 S 1.1.1.0-39 301 0299

外務省

在米各館ニ郵送セリ



6.11 S 1.1.1.0-39 302 0300

外務省

REEL No. A-0190

アジア歴史資料センター

機密公第二三八號

昭和六年十二月十三日

在坊子

出張所主任

草野松雄

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

公信寫送附ノ件

昭和六年十二月十三日附在華公使宛機密公領第五二號拙信寫送附ス

件名

聯盟調査員ニ對スル中國實狀説明資料進達ノ件

國際聯盟支那調査
外務省準備委員會

は(ト)

6.11

S 1.1.1.0-39

303

0301

外務省

機密公領第五二號

昭和六年十二月十三日

在坊子

出張所主任

草野松雄

在華

特命全權公使

重光葵殿

聯盟調査員ニ對スル中國實狀説明資料進達ノ件

本月十日附拙信機密公領第五一號ニ關シ本件資料(二)別紙ノ通り進達ス右御査閱相成様致度

本信寫送附先

外務大臣 北平 青島 濟南 南京 芝罘 張店 博山

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

304

0302

在坊子帝國總領事館出張所

聯盟調査員ニ對スル中國實狀説明資料(二)

一 邦人ノ身体、財産ニ對スル不法侵害。

二 軍隊ノ警察行爲ニ依ル侵害。

(1) 永田天涯事件。

(2) 南炭鑛搜索事件。

(3) 近藤實治郎事件。

(4) 停車場ニ於ケル所持品ノ検査。

外務省

は(一)

6.11

S 1.1.1.0-39

305

0303

一 邦人ノ身体、財産ニ對スル不法侵害

二 軍隊ノ警察行爲ニ依ル侵害

(1) 永田天涯事件。

昭和四年八月二十六日青島居住酒商永田天涯ハ濟南行列車ニ搭乘同日午後昌樂驛着下車ノ際驛構内警備兵ノ爲身體検査ヲ受ケ拳銃一個同彈丸百發ヲ携帶セルヲ發見押收セラレ身柄ハ同日夕刻押收武器ト共ニ昌樂縣城内第四十六師第二百七十二團第一營本部ニ押送セラレタリ。右營本部ニ於テハ同日夜半ニ至リ同地居留邦人數名ノ保證ヲ以テ身柄ヲ釋放セリ。

(2) 南炭鑛搜索事件。

昭和六年四月二十七日坊子駐屯陸軍第七十四師第二百二十一旅ノ軍

外務省

6.11

S 1.1.1.0-39

306

0304

隊ハ旅長運其昌指揮ノ下ニ坊子南炭鑛合資會社經營ニ係ル魯大股份
公司所管昌樂縣荆山（坊子驛ノ南方二邦里ノ地點ニ在リ）鑛區内
現作業場附近一帶ニ亘ル土匪討伐決行中適々持兇器土匪一名ヲ同炭
鑛山元事務所ノ一室内ニ於テ發見セルニ因テ發シ激昂セル同軍隊兵
士ニ於テ邦人從業員山内一及高橋竹藏ノ兩名ヲ土匪ト聯絡セルモノ
ナルヤニ誤認シ現場ニ於テ捕緊縛ノ上毆打直ニ處刑（斬首）セント
シ危機一髪ノ際右軍隊指揮者タル旅長ノ發見スル處トナリ其制止ニ
依リ漸ク危險ヲ脱シ多數ノ同鑛所屬中國人從業員及ヒ採炭請負堀各
坑口所屬工人ト共ニ坊子ニ同行セラレ其身柄ハ我方ニ引渡サレタリ
此際山元事務所ハ是等兵士ニ依リ隈ナク搜索ヲ受ケタリ
本件ニ依ル同炭鑛會社側ノ被害ハ同社ノ現銀六十八元三十五仙、銅

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

307

0305

子兒票若干、從業員靴四足、古洋服「トンビ」一着等ノ紛失、布團
家具等破損ノ外事件發生後約十日間按炭休止スルノ已ムナカリシコ
ト是ナリ。
本件ハ事件ノ責任者ト交渉ノ結果遺憾ノ意思表示ノ外（一）山元作業ノ
危速恢復ノ爲同社直屬中國人從業員ノ即時釋放及其他作業關係被拘
禁者ノ可及的急速釋放（二）事件發生現場ノ立會見分（三）今後ノ保證及（四）
作業恢復助長ノ爲メ安民ノ佈告發出ノ諸項ノ我方要求貫徹シ大体解
決ヲ見タルモ、要スルニ日本人經營ノ炭鑛ニ對シ事前ニ何等我方ノ
諒解ヲ取付ケス軍隊ヲ以テ全山ヲ搜索シ從業員全部ヲ逮捕連行シ採
掘中止ニ至ラシメ假令誤解ニ基クトハ云へ邦人ヲ逮捕緊縛毆打シ且
生命ノ恐怖ヲ感セシメタルハ明瞭ナル不法行爲ニシテ、殊ニ其現場

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

308

0306

ニ於テ即時處刑セントセル事實ハ深く考察ヲ要スル點ナリ。
参照公信

日附	宛名	發者	番 號	件 名
六五 一	外務大臣	在坊子主任	機密公第八七號 (公使宛機密公領第一四號) 南炭嶺搜索事件ニ關スル件	中國軍隊邦人經營坊子

(3) 近藤實治郎事件

昭和六年九月九日午前濰縣居住近藤實治郎ハ主家ノ用達ノ爲メ同縣々城南門通行中同門守備ノ陸軍第八十一師所屬兵數名ノ爲メ禁制藥品携帶ノ嫌疑ニテ身體検査ヲ受ケ腹巻ノ中ニ隠匿シ居タル自己服用「ヘロイン」少量ヲ發見セラレタル爲身柄團本部ヲ經テ第八十一師執法處ニ送致セラレ衛兵室ニ抑留ノ上翌十日朝縣政府ニ移送留置セ

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

309

0307

ラレ我方ノ抗議ニ依リ十一日午前身柄押送越セリ。
尙縣長ハ本件邦人ノ強制検査並抑留ノ不法ナルヲ認メ軍隊側ニ對シ注意方取計フヘキ旨約諾シ又軍隊責任者ニ於テモ將來ヲ保障セリ。

参照公信

日附	宛名	發者	番 號
六五 一 五	外務大臣	在坊子主任	機密公第一七四號 (公使宛機密公領第三〇號) 中國軍隊邦人禁制藥品所持者引致抑留事件ニ關スル件

(4) 停車場ニ於ケル所持品ノ検査

膠濟沿線各地停車場ニ於ケル邦人所持品ノ検査ハ大体昭和四年五月我山東派遣軍撤退直後停車場警備ニ當レル憲兵ニ依リ一般旅客ニ對スルト同様實施セラレタルヲ皮切リトシ、其後主トシテ中國警備兵

外務省

6.11 S 1.1.1.0-39

310

0308

外務省

四六一七	在青島總領事	在坊子主任	普通公領第九三號 (公使宛普通公領第四八號)	支那憲兵ノ邦人手荷物検査ニ關スル件
四六一五	外務大臣	在坊子主任	機密公第一七四號 (公使宛機密公領第三〇號)	中國軍隊邦人禁制藥品所持者引致抑留事 件ニ關スル件

6.11
S 1.1.1.0-39

312

0310

外務省

四六一三	在濟南總領事	在博山主任	公領第六三號	支那憲兵ノ邦人手荷物検査ニ關スル件
四六一二	在青島總領事	在坊子主任	普通公領第九〇號	支那憲兵ノ邦人手荷物検査ニ關スル件
四六一八	在青島總領事	在坊子主任	普通公領第八六號 (公使宛普通公領第四五號)	支那憲兵ノ本邦人手荷物検査ニ關スル件
日附	宛先	發者	番 號	件 名

6.11
S 1.1.1.0-39

311

0309

ニ依リ現在ニ至ル迄時々發生スルコトアリ、隨時中國側ニ抗議阻止
シ來レルカ各地中坊子ハ我方警察官列車發着ノ都度現場ニ出向キ居
ル關係モアリ殆ント無之モ其他ノ地方即濰縣高密ノ如キニ在リテハ
此ノ事例未タ跡ヲ絶ツニ至ラス。
参照公信。